1ビットポータブルMDレコーダー

形名 MD-DR7

エム ディー ディー アール

取扱説明書 保証書付

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

MDLP

ENGLISH OPERATION MANUAL ... Page 110

はじめ
準備
録音
再生
編集
参考

もくじ

はじめに（お読みください）

1章 準備する

2章 録音する

3章 再生する

4章 MDの編集

5章 ご参考に

- カタログおよび包装箱に表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
  色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。
- この製品は、ドルビーラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

この記号は
気をつける必要があることを表しています。

この記号は
してはいけないことを表しています。

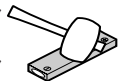
この記号は
しなければならないことを表しています。

⚠危険

充電池について

漏液・発熱・発火・破裂などを避けるため、必ず次のことを守ってください。

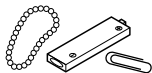
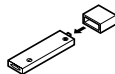
火の中へ入れたり、分解・加熱しない

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付しない

充電池に貼ってある外装カバー（被覆）をはがしたり、傷つけない

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・放置をしない

付属の充電池は、本体以外で充電したり、使用しない

⚠危険

ネックレスやクリップなどの金属類と一緒に携帯・保管しない

充電池を持ち運んだり、保管するときは、付属の充電池ケースをプラス側に取り付けてください

ショートすることがあります。

充電池の液がもれて目に入ったときは、**こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください**
目に傷害を与える恐れがあります。

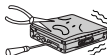
⚠警告

本機について

自動車やバイク、自転車などの運転中は、**ヘッドホンを絶対に使わない、MD ポータブルレコーダーの操作をしない**

交通事故の原因となります。

歩行中は、**周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎない**（特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。）
交通事故の原因となります。

キャビネットを分解･改造しない
火災･感電･けがの原因となります。
また、レーザー光が目に当たると目を痛める原因となります。
内部の点検･調整･修理は、販売店にご依頼ください。

MDの挿入口などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込まない

火災・感電の原因となります。

指定以外のACアダプターや充電スタンド、カー電源アダプター、充電池などを使用しない
火災･事故･故障の原因となります。

本体や充電スタンドの充電端子は、ピンなどの異物でショートさせない
発熱の原因となります。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない
火災･事故･故障の原因となります。

⚠警告

充電池について

充電の際に所定の充電時間をこえても充電が完了しない場合には、充電をやめてください

発熱・破裂・発火の原因となります。

充電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください

漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

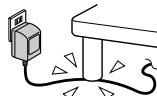
充電池の使用中や充電中、保管時に異臭を感じたり、発熱・変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、本体から取り出し、使用しないでください

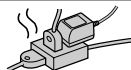
故障の原因となります。

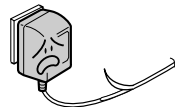
ACアダプターについて

AC100V以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりしない

破損により、火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

コードが傷ついたときは(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください

雷が鳴りだしたら…

安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜いてください

火災・感電・故障の原因となります。

⚠警告

異常が起きたら

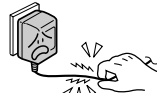
次のようなときは、AC アダプターをコンセントから抜き、充電池などをはずしてから販売店に修理を依頼してください

- 内部に水や異物などが入ったとき
- 本機を落としたり、衝撃を与えたり、キャビネットを破損したとき**(特に充電池ブタが破損したり、はずれた場合、フタをつけずに使用しないでください。)**
- AC アダプター、充電スタンド、充電池などが破損したとき
- 動作がおかしくなったとき
- 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

AC アダプターについて

コンセントから抜くときは、コードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

コードを熱器具に近づけない

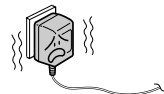
コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

布や布団でおおったり、つつんだりしない

熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。

濡れた手で抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがゆるくぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは、使用を中止する

火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

本機について

極端に寒い所や火気の近くに置かない
火災・事故の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる所（特に密閉した自動車内）や、暖房器具の近くに置かない
キャビネットが変形・変色し、火災・事故の原因となることがあります。

不安定な所に置かない
落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような所に置かない
火災・事故の原因となることがあります。

ホコリの多い所、海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しない
発火・故障の原因となることがあります。

使用中はあたたかくなりますので、直接肌に触れたままで長時間使用しない
やけどの原因となることがあります。

ズボンなどの後ろのポケットに入れて座ったり、満員電車などで製品に大きな力が加わるような所に入れない

キャビネットの変形・故障の原因となることがあります。

音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。特にヘッドホンで聞くときは、十分注意してください。（耳をあまり刺激しないように、適度な音量でお楽しみください。呼びかけられても返事ができるくらいの音量で使いましょう。）

充電池について

充電池は誤った使いかたをしますと、発熱・破裂・発火・破損・充電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。必ず、次のことを守ってください。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

直射日光の強い所や炎天下の車内など、高温の場所で使用したり、放置しない

水や海水などにつけたり、濡らさない

充電池の充電温度範囲は、5℃～35℃です。この温度範囲以外で充電しないでください

充電池の液がもれて皮膚や衣服に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください
皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

⚠注意

乾電池について

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。必ず、次のことを守ってください。

充電したり、分解しない

金属小物（かぎ・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない
(乾電池入りの乾電池ケースも同様です。)
ショートすることがあります。

水に濡らしたり、加熱したり、火の中へは投げ込まない

プラス（＋）とマイナス（－）の向きを表示どおり正しく入れる

乾電池が使えなくなったり、長期間使わないときは、乾電池ケースから取り出してください
液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因となることがあります。

乾電池の液がもれて身体についたときは、水でよく洗い流してください
(液がもれた場合は、本機についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。)

お手入れのときは

安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください
感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜き、充電池などをはずしてください
火災の原因となることがあります。

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったときもしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

おもな特長

モバイル１ビットデジタルアンプ搭載

アナログ信号をデジタル信号に変換して増幅する、モバイル１ビットデジタルアンプを内蔵していますので、原音をより忠実に再生し、きめ細かく歯切れのよい高音質を楽しむことができます。

高音質専用４極プラグヘッドホン

ヘッドホンへのケーブルをプラス側とマイナス側それぞれ左右独立分離することで、相互の信号の影響による音質劣化を最小限とする、高音質設計のフルブリッジ方式を採用しています。

MDのグループ録音・再生

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音することができます。
そのMDは、グループを選んで再生することができます。
また、録音済みのMDに、アルバム名などをつけることができます。

２倍・４倍長時間録音／再生（MDLP）

標準録音の２倍、４倍の長時間録音がステレオでできます。
また、長時間録音されたMDの再生ができます。

トレースバック録音

録音開始の５～30秒前にさかのぼって録音することができます。

グループアップ録音

マイク録音時にポイントとなる部分をグループ分けすれば、再生時にその部分を簡単にさがせます。

お気に入り再生

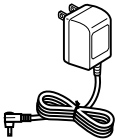
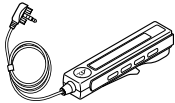
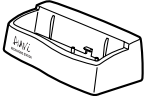
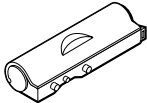
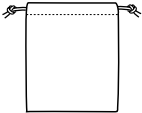
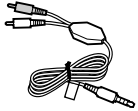
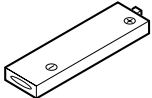
お気に入りの曲だけを登録して、再生することができます。（MD１枚あたり10曲／最大9ディスク）

アラーム

時間を設定しておくと、アラーム音でお知らせします。（1～99分）

再生スピードコントロール

再生スピードを速くしたり、遅くすることができます。

デジタル音質調整（BASS（バス）/TREBLE（トレブル））

デジタル処理による高音質な重低音再生に合わせて、高音部の調整も可能です。

付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

ACアダプター× 1	液晶リモコン× 1	充電スタンド× 1	単 3 乾電池ケース× 1	キャリングケース× 1
ヘッドホン× 1	再生専用接続コード× 1	充電池× 1	充電池ケース× 1	取扱説明書× 1 (保証書付き) 録音操作早見表× 1

付属のヘッドホンや接続コードは4極プラグで、1ビットポータブルMD専用です。モバイル1ビットデジタルアンプの高精細なサウンドをお楽しみください。

マイナス側を左右で共有している市販の3極プラグでは、方式の違いから本来の高音質を十分に発揮できません。

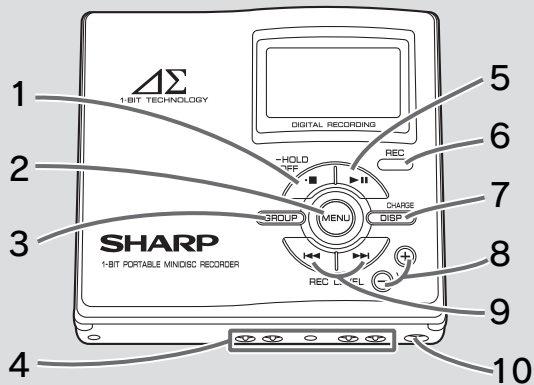
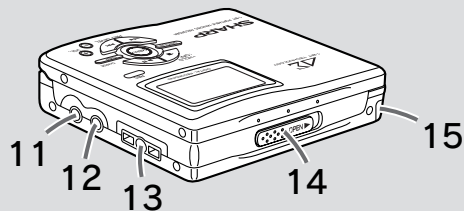
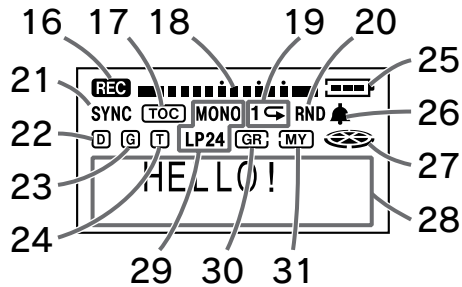
- 付属のヘッドホンや接続コードを他の機器で使用すると、片チャンネルしか聞こえない場合があります。
- 付属の接続コードは、外部機器で再生するときの再生専用コードです。本機に録音するときは使用できません。

付属品（4極プラグ）

市販品（3極プラグ）

ACアダプターの形は、イラストと異なることがあります。

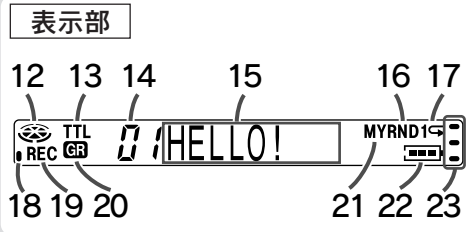
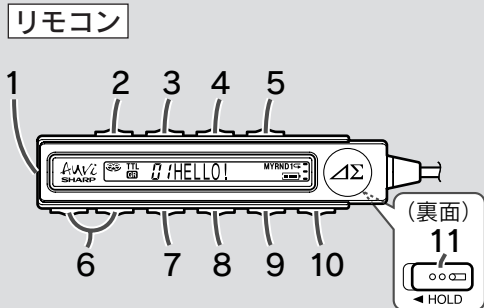
各部のなまえ

本　体

表示部

【　】は、おもに説明しているページを表しています。

1 **停止／電源切／誤動作防止ボタン**【21、29、47】
2 **メニューボタン**【28、90】
3 **グループモード切換ボタン**【40、53、71】
4 **充電／乾電池ケース接続端子**【19】
5 **再生／一時停止ボタン**【28、29、47、54】
（電源入／イントロ再生）
6 **録音ボタン**（曲番追加／電源入）【28、38】
7 **表示切換ボタン**（充電）【16、44、64、70】
8 **音量調整ボタン**【47、72】
9 **早送り／早戻しボタン**【31、32、49】
（曲番選択／録音レベル調整／メニュー選択）
10 **DC 5V IN 端子**【16、18】
11 **光／ライン入力端子**【24】
12 **マイク入力端子**【27】
13 **リモコン／ヘッドホン出力端子**【46】
14 **MD 取出しつまみ**【22】
15 **充電池ブタ**【16】

表示部

16 録音表示【28】
17 TOC 表示【44】
18 レベルメーター【31】
19 リピート表示【57】
20 ランダム表示【57】
21 シンクロ録音表示【33】
22 ディスク情報表示【70】
23 グループ情報表示【71】
24 トラック情報表示【71】
25 電池残量表示【20】
26 アラーム表示【62】
27 動作表示【29】
28 文字情報表示部【64】
29 録音モード表示【48】
30 グループ表示【40】
31 マイディスク表示【59】

各部のなまえ（続き）

1 ヘッドホン端子【46】
2 低音調整ボタン（曲番追加）【38、50】
3 表示切換ボタン（アラーム設定）【44、62、64】
4 再生モードボタン（スピード設定）【56、60】
5 グループモード切換ボタン【53】
6 音量調整ボタン【47】
7 停止／電源切ボタン【47】
8 早戻しボタン（曲番選択）【49】
9 再生／一時停止ボタン【47、54、58】
（電源入／イントロ再生／お気に入り登録）
10 早送りボタン（曲番選択）【49】
11 誤動作防止スイッチ（HOLD（ホールド））【21】

表示部

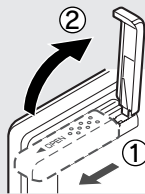
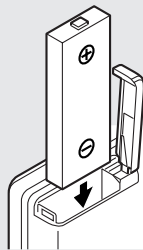
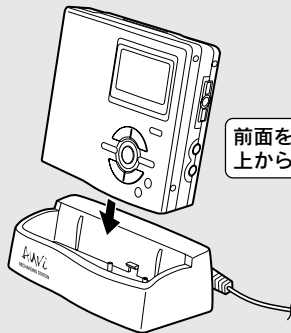
12 動作表示【29】	18 シンクロ録音表示【33】
13 総曲数表示【64】	19 録音表示【28】
14 曲番表示部【65】	20 グループ表示【53】
15 文字情報表示部【64】	21 マイディスク表示【59】
16 ランダム表示【56】	22 電池残量表示【20】
17 リピート表示【56】	23 録音モード表示【48】

1 章

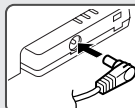
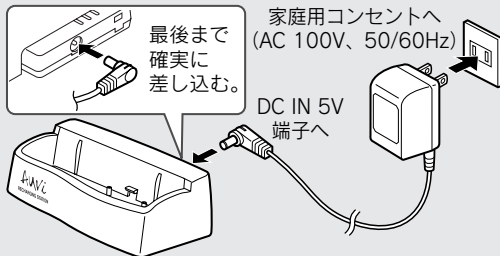
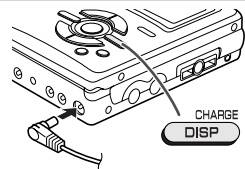
準備

充電池で使う

お買いあげ時、充電池は充電されていません。お使いになる前に、必ず充電してください。

1 充電池を入れる。

無理に開けすぎないでください

⊖側から入れる

2 ACアダプターをつなぐ。

3 本体を充電スタンドに置く。

前面を手前にして、上から押さえる。

ACアダプターを本体のDC IN 5V端子に直接つなぎ、[CHARGE] を押しても充電することができます。

電池残量表示について

本体を充電スタンドに置くと、本体の電池残量表示で動作状態が確認できます。

スクロールする。 充電中です。	
消灯する。 すでに充電が完了しています。 または、本体が充電スタンドに正しく置かれていないときや、充電端子が汚れていたり、異物がついていると、充電状態になりません。（接点を綿棒でからぶきしてください。☞ P.106）	

継ぎ足し充電について

本機は、ニッケル水素充電池の特性である「メモリー効果」(電圧低下により、製品本来の電池持続時間が発揮できなくなる現象)の影響を気にせず、電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電ができます。

※ただし、充電池の寿命（☞ P.96）や使用条件などにより、電池持続時間が短くなることがあります。

充電時間について

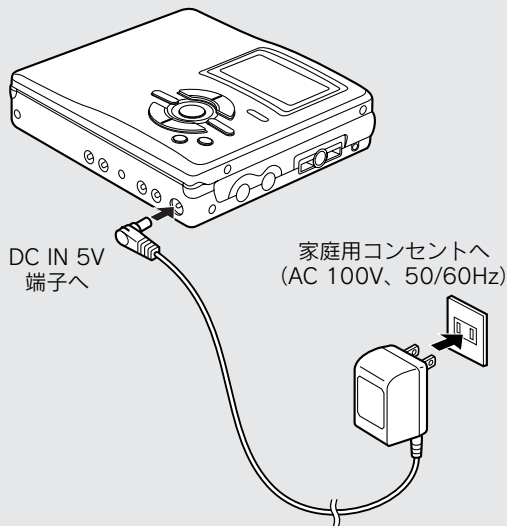
約3.5時間すると充電が完了し、電池残量表示が消えます。

このとき、充電の約90%が完了しています。
さらに約2時間そのままにしておけば、フル充電されます。

- この製品は、0℃～40℃の場所でお使いください。
- 充電が完了したあと、そのまま充電状態にしておいても差しつかえありません。
- 充電池の状態（電池残量など）によっては、充電が早く完了することがあります。

お知らせ

- **付属（AD-N55BT）以外の充電池は、使用しないでください。**
- 動作中や、停止中など本体に電源が入っているときは、充電されません。
- アラーム設定しているときは、充電されません。（アラーム設定 ☞ P.62）
- 充電スタンドでの充電中は、操作できません。
  充電中に操作すると、本体に“CHARGE(チャージ)mode(モード)”、と表示されます。
- 充電中や充電後、本体や充電スタンドが暖かくなることがありますが、異常ではありません。

1 電源 準備 ■充電池で使う

AC アダプターで使う

録音するときは、AC アダプターで使用することをおすすめします。
このとき、充電済みの充電池を入れておいてください。万一停電になっても、電源は自動的に充電池に切り換わります。

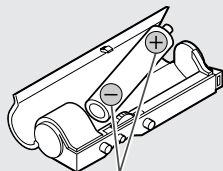
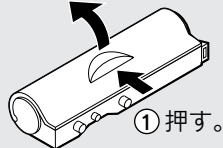
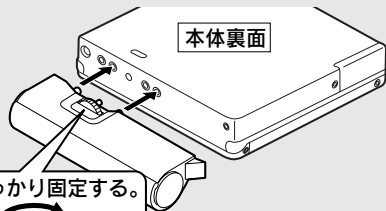
ご注意

- ACアダプターで長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- プラグは最後まで確実に差し込んでください。

お知らせ

AC アダプターを使って再生しているときに停電になったときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
そのままにしておくと、停電復帰後、再生が自動的に始まることがあります。

乾電池で使う

1 乾電池ケースに乾電池を入れる。

2 乾電池ケースを本体に取り付ける。

乾電池は、市販の単３形アルカリ乾電池（LR6）を使用してください。
本体に充電池を入れておくと、乾電池と充電池を併用できます。

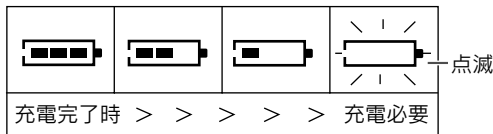
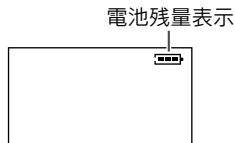
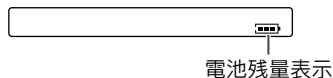
ご注意 ....

乾電池ケースには、充電池（ニカド電池等）を使用しないでください。
充電池(ニカド電池等)の性能を損う場合があります。

お知らせ ....

乾電池で使うときは、本体に充電池を入れておいてください。
(充電池を入れておくと、強い振動などで乾電池ケースと本体の接触部が瞬間的にはずれても、録音や再生が途切れることを防げます。)

電池残量を確認する

電池残量は、充電池または乾電池で動作中に表示されます。

＜本体表示＞

＜リモコン表示＞

電池残量表示が点滅したら…

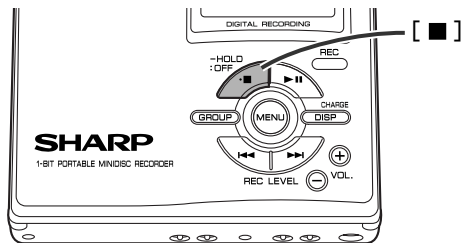
充電池を充電しなおすか、新しいアルカリ乾電池と交換してください。

お知らせ

- 完全に消耗すると、“BATT EMPTY”（バッテリー エンプティー）（本体）、“LoBATT”（ロー バッテリー）（リモコン）が表示されたあと、電源が切れます。
- 充電池や乾電池でお使いの場合、電源を入れたときに電池の容量を確認するために、約20秒間は電池残量表示が安定しないことがあります。
- 動作内容によって目盛が増減することがあります。
- 付属のACアダプターで使用するときは、電池残量表示はでません。
- 充電を途中で止めて充電池を使って操作を行うと、“▭▭▭▭”表示することがあります。
  このときの表示は、フル充電していることを示すものではありません。

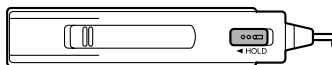
誤動作防止について（HOLD 設定）

混雑した電車などで、誤って操作ボタンが押されても、現在の状態が変わらないようにすることができます。（本体とリモコンは別々に機能します。）

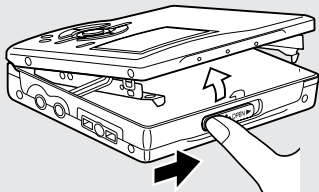
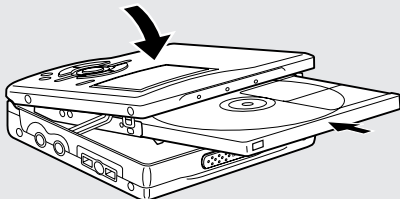
本　体

[■] を 2 秒以上押す。

押すたびに切り換わります。

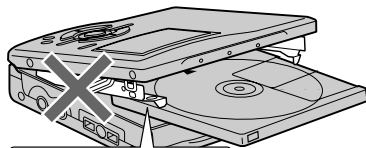
電源を切った状態でも電池または AC アダプターがつながっている状態であれば設定できます。

リモコン

電源を切った状態でホールド設定をすれば、誤って電源が入ることなく、電池の消耗を防ぐことができます。

MDを入れる

1 MD取出しつまみを矢印の方向に動かして、ふたを開ける。

2 MDを入れて、ふたを閉める。

再生専用MDや誤消去防止状態にしたMDを入れたときは、[▶II]を押さなくても、再生が自動的に始まります。（オートプレイ ☞ P.67）

MD挿入時・取出し時の注意

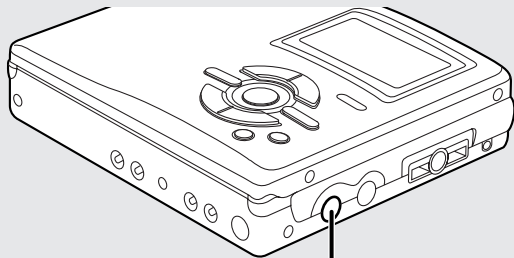
- MDを入れるときは、ふたを無理に開けたり、MDを無理に押し込まないでください。故障の原因となります。また、MDをホルダーの下に入れないでください。
- MDが入りにくいときや、ふたが確実に閉まらないときは、一度MDを取り出し、入れ直してください。

- **電源が入っているときは、ふたを開けないでください。MDを取り出すときは、電源を切ったあとに行ってください。**

  本体に“TOC”や“TOC EDIT（トック エディット）”を表示中は、ふたがロックされ、開けることはできません。無理にMD取出しつまみを動かすと、故障の原因となります。

2 章

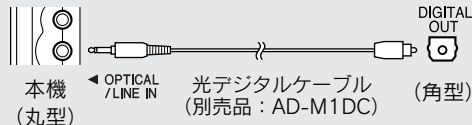
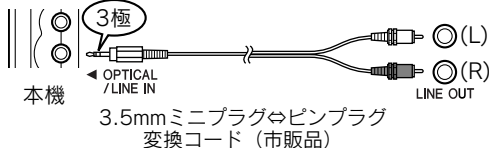
録音

オーディオ機器と接続する

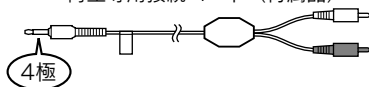
録音する機器によって、使用する端子や接続コードが異なりますので、以下をご参照のうえ正しく接続してください。**（録音用接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。）**

オーディオ機器を接続するときは、OPTICAL/LINE IN端子に接続してください。

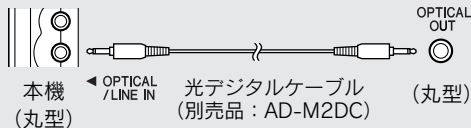
- オーディオ機器から録音するときは、MIC IN端子には何も接続しないでください。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。汚れていると、雑音が入ることがあります。
- プラグは最後まで確実に差し込んでください。

オーディオステレオの場合

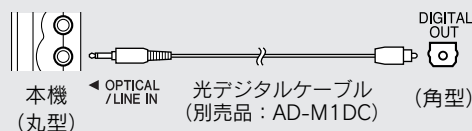
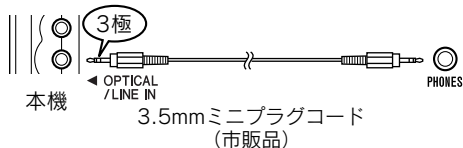
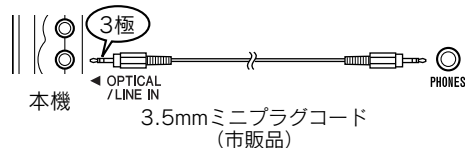
光出力端子につなぐとき

アナログ出力端子につなぐとき

ご注意

付属の接続コードは、再生専用です。録音に使用することはできません。

再生専用接続コード（付属品）

オーディオ ポータブル CD の場合

光出力端子につなぐとき

アナログ出力端子につなぐとき

オーディオ ラジカセの場合

光出力端子につなぐとき

アナログ出力端子につなぐとき

ご注意

- ポータブルCDやMDプレーヤーの中には、充電池や乾電池で使うと光出力が出ないものがあり、これらの機器からは、デジタル録音できません。そのときは、AC電源を使用してください。
  また、音とびを防ぐ機能がついている機器では、そのスイッチを“**切**”にしておいてください。
- ラジカセなどのヘッドホン端子につないで録音する機器では、その機器の音量によって、録音レベルが変わります。

デジタル録音に関するご注意

デジタル入力で録音したMDを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。
これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。なお、アナログ入力にはこのような制限はありません。
一部のDVDにはコピー禁止になっているものがあります。このようなディスクからデジタル録音することはできません。

CDプレーヤー
MDプレーヤー
などのデジタル機器

デジタル信号

⇩デジタル接続

デジタル信号をデジタルで録音

⇩デジタル接続

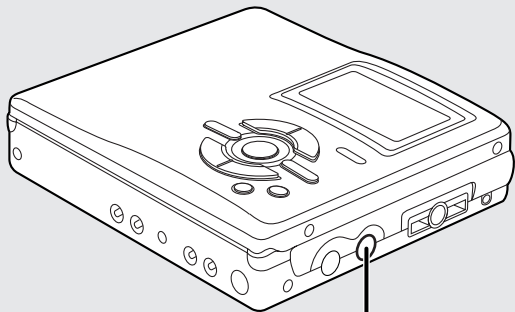
録音できません
デジタル録音したMDを、さらにデジタル接続で別のMDに録音することはできません。

MDの誤消去防止について

MDに録音や編集をするときは、誤消去防止用ツマミが閉じていることを確かめてください。

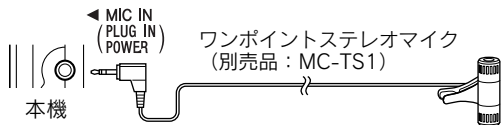
録音が終わったあとは、大切な録音を誤って消さないために、誤消去防止用ツマミを開いておくことをおすすめします。

お知らせ
- 本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、CS/BSチューナーやDATデッキなどサンプリング周波数の違う（32kHz、48kHz）デジタル機器に接続しても、自動的に44.1kHz（本機の周波数）に変換してデジタル録音できます。
- この製品のデジタル入力には、オーディオ用（デジタルオーディオインターフェースに適合した機器）をお使いください。

マイクと接続する

マイクを接続するときは、MIC IN（マイク イン）端子に接続してください。

お知らせ

- マイクから録音するときは、OPTICAL/LINE IN（オプティカル ライン イン）端子には何も接続しないでください。
- マイクから録音するときは、マイクを本体からできるだけ離してください。雑音が入ることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。汚れていると、雑音が入ることがあります。
- プラグは最後まで確実に差し込んでください。

マイクとつなぐ

マイクの別売品には、上記のワンポイントステレオマイクの他にタイピンマイク（MC-TP2）、バウンダリーマイク（MC-BD1）があります。

接続するマイクについて

- マイクは、プラグインパワー方式に対応したものであれば、市販のステレオマイクも使用できます。
- プラグインパワー方式に対応していないマイクを接続すると、正しく動作しなかったり、故障の原因となります。

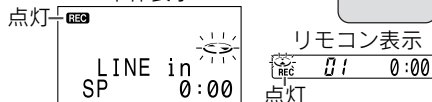
プラグインパワー方式に対応したマイクとは

マイクには、動作用の電源を必要とするものと、必要としないものがあります。電源を必要とするマイクの中には、電池を内蔵するものと、本体から電源が供給されるものがあります。本体から電源が供給されることによって動作するマイクを、プラグインパワー方式対応のマイクと言います。

オーディオ機器からの録音（マニュアル録音）

準備：① MDを入れる（☞ P.22）
② ホールドしている場合は解除する（☞ P.21）

1 録音する機器をOPTICAL/LINE IN（オプティカル/ライン イン）端子につなぐ。（☞ P.24）

2 [REC]を押す。

録音の一時停止状態になります。

- 電源が切れている状態で、[REC]を押しても、操作できます。
- 何も接続されていないときは、"DISCONNECT"（ディスコネクト）が約1秒表示されます。

3 接続した機器を再生して、録音レベルを調整する。（☞ P.31）

4 接続した機器を再生の一時停止状態にする。
（録音したい曲の頭出しをしておく。）

5 [►II]を押す。

回転
1 0:05

6 接続した機器を再生して、録音を始める。

「メニュー選択について」（☞ P.90）もごらんください。

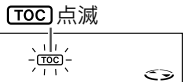
一時停止するには

録音中に押す。
このとき、曲番が1つ増えます。
もう一度押すと、録音が始まります。 点滅

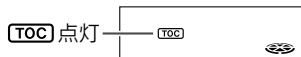
停止するには

録音中に押す。
停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。 点灯

電源を切るには

停止中に押す。
TOC 情報を記録したあと、電源が切れます。

TOCは電源を切るときに、自動的に記録され、記録中は“TOC”が点滅します。

お知らせ
- **録音するときは、ACアダプターで使用することをおすすめします。**
  このとき、充電済みの充電池を入れておいてください。万一停電になっても、電源は自動的に充電池に切り換わります。
- 録音中に本機の音量を調整しても、録音には影響ありません。
- 録音中には低音や高音の調整はできません。
- 動作表示は動作の状態を表しています。
  回転…録音中/再生中
  点滅…一時停止
  点灯…停止

TOC の表示について

録音や編集をすると、“TOC”が点灯します。
これは、TOC の情報が変更されたことを表しています。
この時点では、まだMDには記録されていません。

試し録音について

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（☞ P.103）

マイクからの録音（マニュアル録音）

準備：① MDを入れる（☞ P.22）
② ホールドしている場合は解除する（☞ P.21）

1 マイクを MIC IN（マイク イン）端子につなぐ。（☞ P.27）

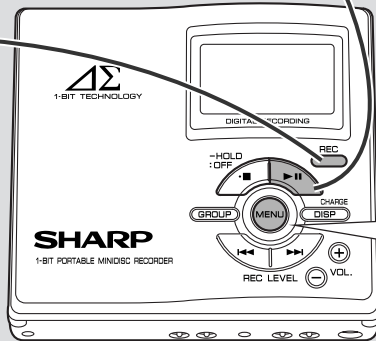
2 [REC]を押す。

```
  MIC in
SP     0:00
```

録音の一時停止状態になります。
何も接続されていないときは、“DISCONNECT（ディスコネクト）” が約1秒表示されます。

3 録音レベルを調整する。（☞ P.31）

4 録音したいところで…

[▶II]を押す。

録音が始まります。

一時停止するには

録音中に押す。
このとき、曲番が1つ増えます。
もう一度押すと、録音が始まります。

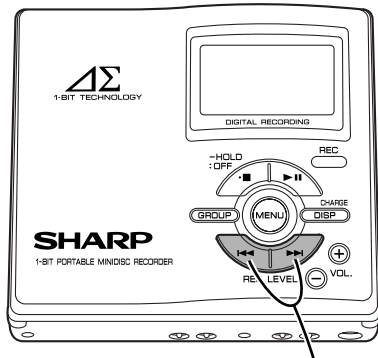
停止するには

録音中に押す。
停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

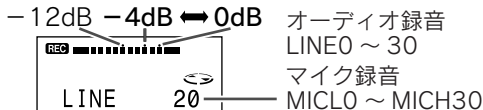
MENU

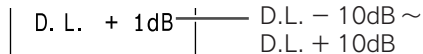
「メニュー選択について」（☞ P.90）もごらんください。

録音レベルを調整する

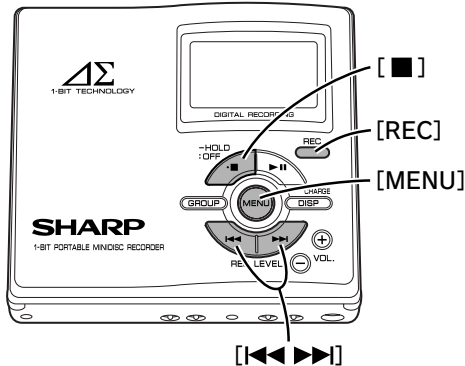
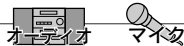
録音する音声レベルが低いときや高いときは、録音レベルを調整することができます。
録音する音声（モニター音）はヘッドホンで確認することができます。

① 録音の一時停止中または録音中に…
接続した機器を再生する。

② **[I◀◀］または［▶▶I］を押して、録音レベルを調整する。**

オーディオアナログ録音やマイク録音のとき

- 最も大きなレベルのとき、**−4dBから0dBの間**に振れるように調整します。
- 録音レベルを一度調整すると設定内容は録音を停止しても記憶されます。
- 録音レベルは“**0**”から“**30**”の間で調整することができます。
  “**MIC L 20**”と“**MIC H 21**”（マイク）の間で切り換わるとき、音が一瞬とぎれますが故障ではありません。
- 録音レベルを必要以上に上げないでください。音がひずむことがあります。

オーディオデジタル録音のとき

- −10dBから+10dBの範囲で、1dBごとの調整ができます。
- CDから録音するときは、通常は“**D.L. 0dB**”に、CSチューナーなどから録音するときは、“**D.L. +8dB**”を目安に設定します。
- 録音レベルを調整してもヘッドホンから聞こえる音は変化しません。レベルメーターで確認してください。
- 録音レベルを一度調整すると、設定内容は録音を停止しても記憶されます。（☞ P.68）

音声に合わせて録音を始める(シンクロ録音)

オーディオシンクロ録音／マイクシンクロ録音
接続したオーディオ機器やマイクからの音声を検知して、自動的に録音を開始したり、一時停止します。

準備：① MDを入れる（☞ P.22）
② ホールドしている場合は解除する（☞ P.21）
③ トレースバック録音設定している場合は解除する（☞ P.43）
④ 録音する機器やマイクを接続する（☞ P.24、27）

1 **[REC］を押す。**
録音の一時停止状態になります。

2 **[MENU］を押す。（☞ P.90、91）**
メニュー選択モードになります。

3 **[I◀◀］または［▶▶I］を押して“SYNC REC”（シンクロ レコーディング）を選び、[MENU］を押す。**

SYNC REC
OFF

4 **[I◀◀］または［▶▶I］を押して、シンクロ録音モードを選ぶ。**

オーディオから録音

“ON”（オン）を選びます。

SYNC REC
ON

ON：
シンクロ録音が設定されます。

OFF：
シンクロ録音は設定されません。

マイクから録音

マイクシンクロレベルを選びます。

SYNC REC
MIC SYNC H

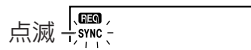
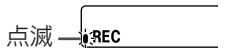
MIC SYNC H (High)：
–24dBをこえると録音を開始します。
(小さな音でも録音開始)

MIC SYNC L (Low)：
–12dBをこえると録音を開始します。

OFF：
シンクロ録音は設定されません。

5 [MENU] を押す。

本体表示 リモコン表示

点滅 REC SYNC　点滅 REC

6 オーディオから録音

接続した機器を再生すると自動的に録音が始まります。

マイクから録音

マイクから音声が入ると自動的に録音が始まります。

シンクロ録音を解除するには

録音中に［■］を押す。

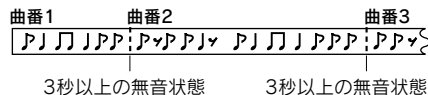
お知らせ

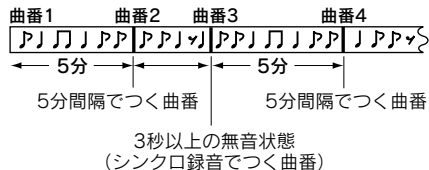
- オーディオ機器やマイクからの再生信号によっては、正確な位置で録音開始や一時停止しないことがあります。このようなときは、手動による録音を行ってください。(☞ P.28、30)
- マイクシンクロ録音するとき、雑音などで録音が始まるときは、録音の感度を "MIC SYNC L"(マイク シンクロ)(Low(ロー))に設定してください。
- トレースバック録音が設定されているとシンクロ録音はできません。トレースバック録音を解除してください。(☞ P.43)

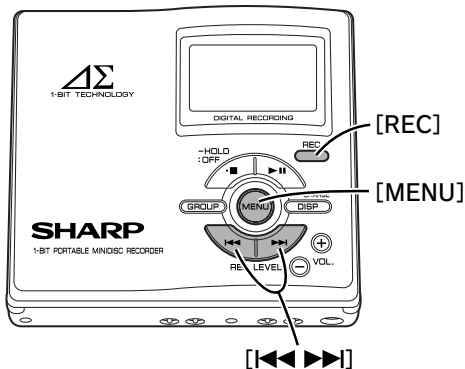
録音の一時停止と曲番について

オーディオ機器やマイクからの無音状態が3秒以上続くと自動的に録音の一時停止になります。
(録音開始後、約 10 秒間は一時停止しません。)
再び音声が入ると、曲番が1つ増え自動的に録音が始まります。

曲番1　曲番2　曲番3

3秒以上の無音状態　3秒以上の無音状態

曲番のつく設定をしていると…

3秒以上の無音状態でつく曲番に加えて、一定間隔での曲番もつきます。(☞ P.37)
(例：5 分間隔のとき)

長時間録音する

2倍・4倍長時間録音／モノラル録音
ステレオ録音で2倍または、4倍の長時間録音ができます。モノラル録音では、ステレオ録音（SP）の約2倍の時間、録音できます。

準備：① MDを入れる（☞ P.22）
② ホールドしている場合は解除する（☞ P.21）
③ 録音する機器やマイクを接続する（☞ P.24、27）

1 ［REC］を押す。
録音の一時停止状態になります。

2 ［MENU］を押す。（☞ P.90、91）
メニュー選択モードになります。

3 ［◀◀］または［▶▶］を押して"REC MODE"（レコーディング モード）を選び、［MENU］を押す。

REC MODE
SP/STEREO

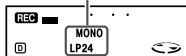
4 ［◀◀］または［▶▶］を押して録音モードを選び、［MENU］を押す。

80分MDに録音する場合の録音時間

表示	録音モード	録音時間
SP/STEREO	ステレオ録音	最大80分
LP2	2倍長時間録音（ステレオ）	最大160分
LP4	4倍長時間録音（ステレオ）	最大320分
SP/MONO	モノラル録音	最大160分

録音モード表示

REC MONO LP24

- 選んだ録音モードによって録音モード表示が点灯します。
- グループ録音したいときは（☞ P.40 操作2～5）

5 録音操作をする。
マニュアル録音 （ P.28 操作3～6、 P.30 操作3～4）
シンクロ録音 （ P.32 操作2～6）
トレースバック録音（ P.42 操作2～6）

お知らせ

- **2倍･4倍長時間録音やモノラル録音をした曲は、それらに対応していない機器では再生できません。対応していない機器で再生すると、無音状態となります。（機器によっては、動作･表示の異なる場合があります。）**
- １枚のMDにステレオ録音、２倍長時間録音、４倍長時間録音、モノラル録音を混ぜて録音することができます。
- モノラル録音では入力がステレオでも、右チャンネルと左チャンネルの音がミックスされて録音されます。また、録音中ヘッドホンから聞こえる音はステレオですが、録音されている音はモノラルです。

４倍長時間録音（LP4）についてのご注意

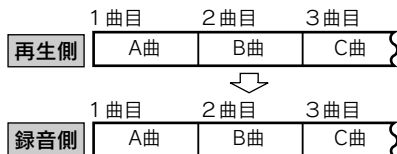
４倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。
音質を重視する録音を行うときは、ステレオ録音（SP／STEREO）または２倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

ATRAC（音声圧縮技術）について

ATRAC（アトラック）（Adaptive TRansform Acoustic Coding）は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約1/5に圧縮します。
聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。
この機器では音楽データを約1/10または1/20に圧縮する、ATRAC3（アトラック）という圧縮方式も採用しています。
この方式を用いることにより、ステレオで２倍・４倍の長時間録音を可能としています。

曲番について

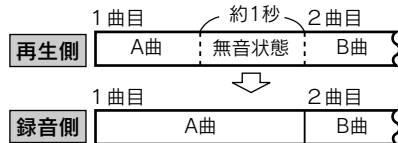
＜オーディオデジタル録音＞

CD や MD から録音するときは、CD や MD についている曲番と同じ所に、曲番がつきます。

下記のような場合、正しい位置に曲番がつかないことがあります。

- 信号に雑音があるとき
- 録音時に、再生側をプログラム再生、または手動で選曲しながら再生したとき
- CS･BS放送の番組をデジタル入力で録音したとき

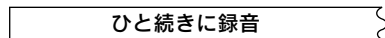
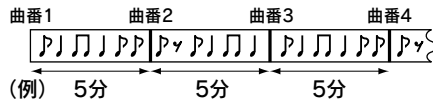
なお、CD の再生機器の種類によっては、デジタル入力でも曲番がつかないことがあります。

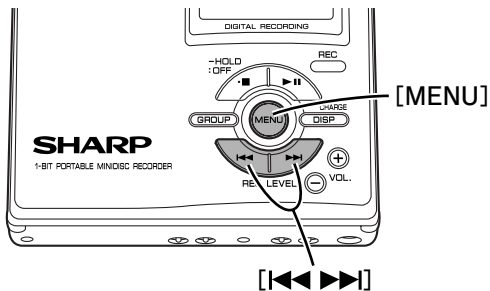
＜オーディオアナログ録音＞

お買いあげ時は、1 秒以上の無音があると、自動的に曲番がつく「LEVEL-AUTO（レベル-オート）」の設定になっています。

一定間隔で曲番をつけたり、曲番をつけずにひと続きにして録音することもできます。(☞ P.37)

＜マイク録音＞

お買いあげ時は、曲番をつけずにひと続きにして録音する、「OFF」の設定になっています。

ひと続きに録音

一定間隔で曲番をつけることもできます。(☞ P.37)

曲番の設定を変える(アナログ録音のみ)

オーディオアナログ録音やマイク録音のときは、一定間隔で曲番をつけたり、曲番をつけずにひと続きにして録音することができます。
また、オーディオアナログ録音のときは、1秒以上の無音で自動的に曲番をつけることもできます。

お知らせ

- 曲番の設定間隔は、実際の録音時間と比較して多少ずれることがあります。
- 録音中に曲番の設定を変更したときは、そのときからの設定になります。

1 録音中または録音の一時停止中に…
[MENU] を押す。
メニュー選択モードになります。

2 **[I◀◀] または [▶▶I] を押して "MARK(マーク)" を選び、[MENU] を押す。**

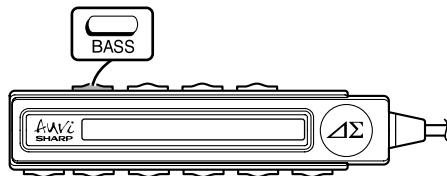
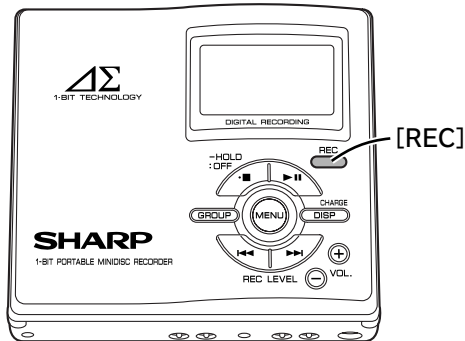
MARK
LEVEL–AUTO

3 **[I◀◀] または [▶▶I] を押して、曲番の設定を選ぶ。**

オーディオから録音	マイクから録音
MARK LEVEL–AUTO	MARK TIME 10min
LEVEL-AUTO： 1秒以上の無音があると、自動的に曲番がつきます。	**TIME10min**：約10分
TIME10min：約10分	**TIME 5min**：約5分
TIME 5min：約5分	**TIME 3min**：約3分
TIME 3min：約3分	**OFF**：曲番がつきません。
OFF：曲番がつきません。	設定した時間ごとに曲番がつきます。

4 **[MENU] を押す。**

録音中に自分で曲番をつける

オーディオ機器やマイクから録音中に、曲番をつけたい位置で、お好みに曲番をつけることができます。
無音がなく、曲番が自動でつかないときなどに便利です。

録音中に曲番をつけたい位置で…
[REC] を押す。

- 曲番が1つ増えて、録音がそのまま続きます。
- リモコンの[BASS]を押しても操作できます。

曲番の制限

一定の時間内に続けて曲番をつけようとすると、"SORRY(ソーリー)"(本体)、"Sorry(ソーリー)"(リモコン)が表示され、操作を受けつけなくなります。
そのときは、しばらく待ってから操作してください。
各モードの待ち時間は下記のとおりです。

ステレオ録音のとき	40 秒以内
2 倍長時間録音のとき	80 秒以内
4 倍長時間録音のとき	160 秒以内
モノラル録音のとき	80 秒以内

グループ録音する

■ グループ録音について

グループ録音・再生を使えば…

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音することができます。そのMDは、グループを選んで再生することができます。

グループモードを設定して録音すると

グループごとに曲番が１から始まります。

グループ1				グループ2		
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲

グループモードを解除して録音すると

連続した曲番になります。

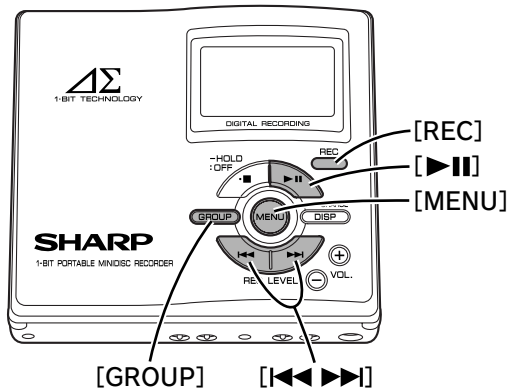
ディスク名						
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	5 E曲	6 F曲	7 G曲

お知らせ………………………………………

- **グループ録音したMDを他の機器で録音または編集すると正しく動作しないことがあります。**
- **グループ録音すると、録音されていたグループでない曲（ノングループの曲）は、グループの後に移動され、曲番が変更されます。**
- グループ録音したＭＤを、グループ機能に対応していない機器で再生すると、ディスク名が正しく表示されません。また、グループ名は表示されません。（例）０;BEST//1-10;…
- グループ数が99を超えると“GROUP FULL（グループ フル）”と表示され、新たなグループを作ることはできません。

  ただし、グループ数が98以下でも“TOC FULL（トック フル）”と表示され、グループ録音できないことがあります。
- “? Gr Form（グループ フォーム）”と表示されたときは「こんな表示が出たら」をごらんのうえ、操作をやり直してください。（☞ P.101）

グループ録音する（続き）

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音することができます。

準備：① MD を入れる（ ☞ P.22）
② ホールドしている場合は解除する（ ☞ P.21）
③ 録音する機器やマイクを接続する（ ☞ P.24、27）

1 **［REC］を押す。**
録音の一時停止状態になります。

2 **［GROUP］を 2 秒以上押して、"GR" を点灯させる。**

（新しいグループが選ばれます。）

- グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。グループ録音の設定を解除するときは［GROUP］を 2 秒以上押して、"GR" を消灯させてください。
- 長時間録音したいときは（ ☞ P.34 操作 2 〜 4）

3 **［MENU］を押す。**（ ☞ P.90、91）
メニュー選択モードになります。

4 [I◀◀] または [▶▶I] を押して"GrSELECT"（グループセレクト）を選び、[MENU]を押す。

GrSELECT
NEW GROUP

5 [I◀◀] または [▶▶I] を押して追加録音したいグループを選び、[MENU] を押す。

NEW GROUP	新しいグループにするとき
GR01 GR02 GR03 ⋮	すでにあるグループに追加するとき（グループ名が記録されていると、"GR01"などのかわりに、グループ名が表示されます。）
Non GROUP	グループにしないとき

6 **録音操作をする。**

操作５で設定したグループに録音されます。グループを変更するときは録音を停止して、操作１からやり直してください。

マニュアル録音 （☞ P.28 操作３～6、☞ P.30 操作３～4）
シンクロ録音 （☞ P.32 操作２～6）
トレースバック録音（☞ P.42 操作２～6）

■ 録音の途中からグループ録音をはじめる（グループアップ録音）

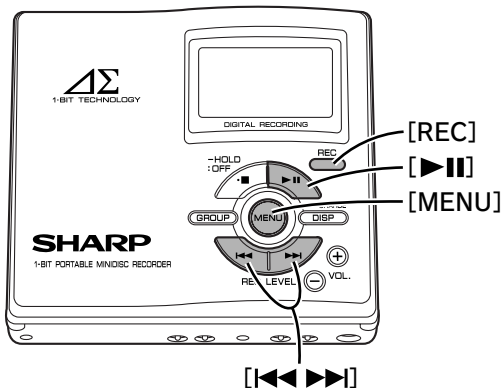
マイク録音中は、グループモードを設定していない状態からでも、グループ録音することができます。

こんなときに便利です…

会議などでポイントとなる部分をグループアップ録音すると、グループ再生（☞ P.52）でその部分を簡単にさがすことができます。

さかのぼって録音する(トレースバック録音)

マイク録音やラジオ放送など(アナログ録音)をするときに、録音開始の5～30秒前にさかのぼって録音することができます。

デジタル録音のときは、トレースバック録音はできません。

準備：① MDを入れる（ P.22）
② ホールドしている場合は解除する（ P.21）
③ 録音する機器やマイクを接続する（ P.24、27）

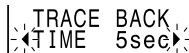
1 **[REC] を押す。**
録音の一時停止状態になります。

2 **[MENU] を押す。**（ P.90、91）
メニュー選択モードになります。

3 **[I◀◀] または [▶▶I] を押して "TRACE BACK"（トレースバック）を選び、[MENU] を押す。**

```
TRACE BACK
   OFF
```

4 **[I◀◀] または [▶▶I] を押して、トレースバックする時間を選ぶ。**

```
TRACE BACK
TIME   5sec
```

TIME 5sec	5秒前にさかのぼって録音
TIME 10sec	10秒前にさかのぼって録音
TIME 30sec	30秒前にさかのぼって録音
OFF	設定解除

5 ［MENU］を押す。

```
TraceBack05s  ⇔  NO NAME
 01      0:00     01      0:00
```

交互に表示され、トレースバック録音の待機状態になります。

6 **録音したいところで［▶II］を押す。**

操作4で設定した時間に､さかのぼって録音を始めます。

一時停止するには

録音中に［▶II］を押す。

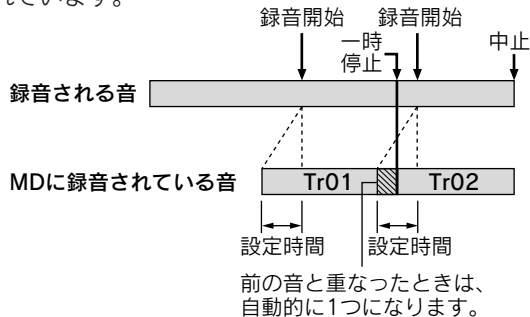
もう一度押すと設定した時間にさかのぼって、録音を開始します。

トレースバック録音を解除するには

トレースバック録音の設定は､MDを取り出しても解除されません。
トレースバック録音をしないときは、操作４で“OFF（オフ）”を選び、設定を解除してください。

デジタルケーブルで接続されているときは､トレースバック録音の設定や解除ができません。一度、デジタルケーブルをはずして操作してください。

トレースバック録音について

トレースバック録音とは､設定時間分の音を一時的にメモリーに蓄えておき､［▶II］を押して録音を開始したときに、MD に記録する機能です。
設定時間を決定した時点（操作５）からメモリーされています。

お知らせ……………………………………………

- 設定時間内で録音レベルを調整（ ☞ P.31）すると、その状態の音で録音されます。
- トレースバック録音が設定されていると､シンクロ録音はできません。

2 便利 録音 ■さかのぼって録音する

録音残り時間を確かめる

録音中または録音の一時停止中に…
［DISP］を押す。

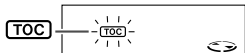
```
16   -43:50  録音残り時間
```

- もう一度押すと、もとの表示に戻ります。
- リモコンの［DISPLAY］を押しても操作できます。

お知らせ

- 録音残り時間は、設定されている録音モードによって時間の表示が異なります。
- 本体では停止中に録音残り時間を確認することもできます。（☞ P.64）

TOC（トック）(Table of Contents) について

TOCとは、曲番や録音場所など、曲を認識するための目次情報です。
再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。録音や編集をすると、本体に"TOC"が点灯します。

"TOC"が点灯や点滅しているときは、次のことに注意してください。
TOCが正しく記録されずに、録音や編集した内容が消えます。
・本体に衝撃を与えない。
・ACアダプターを抜かない。
・充電池や乾電池を抜かない。

お知らせ

ACアダプターのみを使用して録音（TOC（トック）情報が書き込まれていない状態）しているときに停電があると、そのときの録音内容は消えてしまいます。
充電された充電池が入っていると、停電しても充電池に自動的に切り換わり、録音を完了することができます。

- "TOC"が点灯や点滅しているときは、MDは取り出せません。電源を切ってから、取り出してください。
- TOCの書き込みは、いくつかの編集作業のあと、最後にまとめて行ってもかまいません。

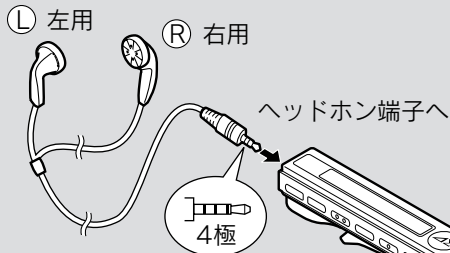
3 章

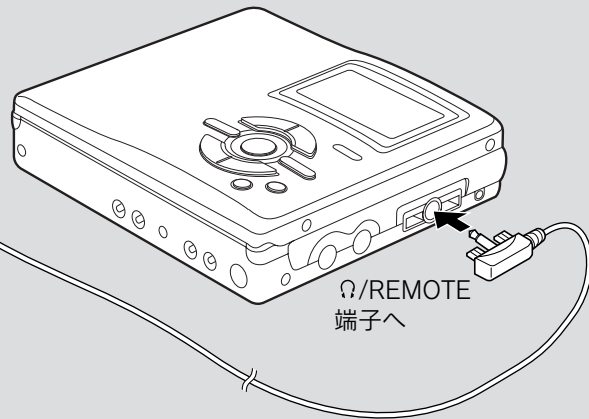
再生

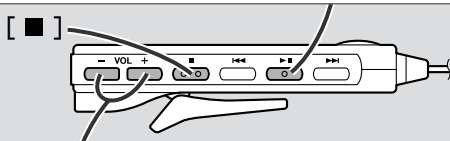
MD を聞く

1 リモコンにヘッドホンをつなぐ。

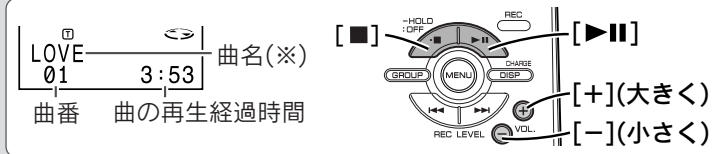
3 MD を入れる。(☞ P.22)

ホールドしている場合は解除してください。
(☞ P.21)

2 本体にリモコンをつなぐ。

リモコンのプラグは、最後まで確実に差し込んでください。

4 [▶II]を押す。

再生が始まり、最後の曲が終わると停止します。

5 [–]または[+]を押して、音量を調整する。

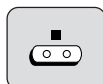
“0” から “30” の範囲で調整できます。

本体でも操作できます。

(※)曲名が記録されていないときは、“NO NAME(ノー ネーム)” と表示されます。

- 再生専用MDや誤消去防止状態にしたMDを入れたときは、[▶II]を押さなくても、再生が自動的に始まります。(オートプレイ ☞ P.67)

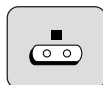
一時停止するには

再生中に押す。
もう一度押すと、再生が始まります。
一時停止後そのままにしておくと、約5分後に停止状態になります。その後、約30秒後に電源が自動的に切れます。

停止するには

再生中に押す。
停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

電源を切るには

停止中に押す。

MDを聞く（続き）

停止後の表示について

<リモコン表示>

総曲数　総再生時間

TTL 16D 29:07

約3秒後、自動的に切り換わります。

TTL 16D ベストヒット

ディスク名(※)

<本体表示>

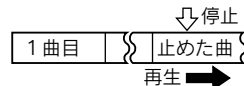
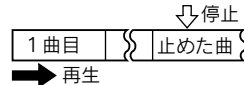
D ベストヒット 16 29:07 ディスク名(※)

総曲数　総再生時間

“D”(リモコン)、“D”(本体)が表示中は、総曲数、ディスク名、総再生時間が表示されます。

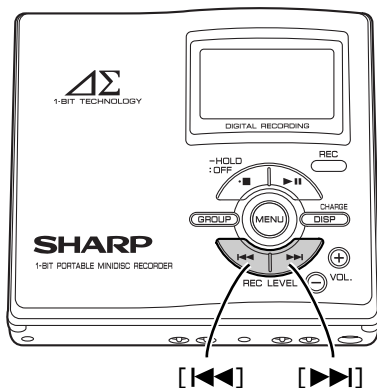
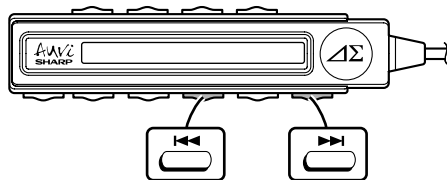
(※) ディスク名が記録されていないときは、“NO（ノー） NAME（ネーム）” と表示されます。

リジューム機能について

再生を停止したあと、MDを取り出さずに再び再生すると、止めた位置から再生が始まります。

ただし、MDを取り出すと、1曲目から再生が始まります。

お知らせ

- 各ボタンを操作すると、リモコンのバックライトが約10秒間つきます。（☞ P.68）
- 異なる録音モードの曲が録音されていても、自動的に録音されたときの録音モード（☞ P.34）で再生されます。録音モードは次のように表示されます。

リモコン	本体	録音モード
	表示なし	ステレオ再生
	LP2	2倍長時間再生(ステレオ)
	LP 4	4倍長時間再生(ステレオ)
	MONO	モノラル再生

曲をさがす

曲の頭出しをするには

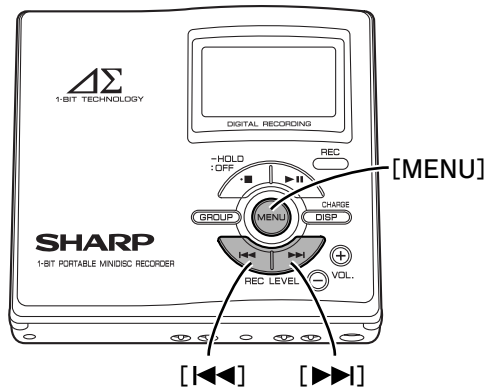
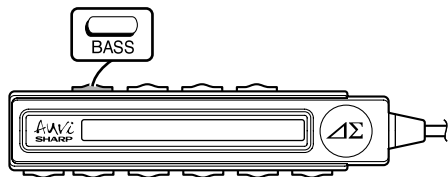
再生中または停止中に[⏮]または[⏭]を押す。

停止中に聞きたい曲番を選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。

早送りや早戻しをするには

再生中に[⏮]または[⏭]を押し続ける。

指を離すと再生に戻ります。
早送りをして、最後の曲の終わりまで行くと、一時停止します。
早戻しをして､最初の曲の頭まで行くと、そこから再生します。

低音や高音を調整する

＜低音の調整＞

リモコンで操作するとき

[BASS] をくり返し押して、低音の強さを選ぶ。

BASS1	BASS2	BASS3	BASS OFF
少し強調	より強調	さらに強調	強調解除

本体で操作するとき

1 [MENU] を押す。（☞ P.90、92）
メニュー選択モードになります。

2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して“BASS（バス）”を選び、[MENU] を押す。

BASS OFF

3 [|◀◀] または [▶▶|] を押して低音の強さを選び、[MENU] を押す。

BASS LEVEL 1

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	OFF
少し強調	より強調	さらに強調	強調解除

＜高音の調整＞

本体

低音の調整が"BASS 1"、"BASS 2"、"BASS 3"のいずれかに設定されているときは、高音の調整をすることができます。("BASS OFF"では、低音も高音も音質調整されない状態で、お聞きいただけます。)

1 [MENU] を押す。(☞ P.90、92)
メニュー選択モードになります。

2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して"TREBLE"を選び、[MENU] を押す。

TREBLE
NORMAL

3 [|◀◀] または [▶▶|] を押して高音の強さを選び、[MENU] を押す。

TREBLE
LEVEL +1

LEVEL − 2	LEVEL − 1	NORMAL
より弱く	少し弱く	標準

LEVEL + 1	LEVEL + 2
少し強く	より強く

リモコンでは操作できません。

音のひずみについて

曲によっては、低音や高音の調整を上げると音がひずむことがあります。このときは、低音または高音の強調レベルを下げるか、音量を下げてください。
音のひずみを少なくするために、音量レベルを"23"以上に設定しているときは、低音の強調レベルが自動的に調整されます。

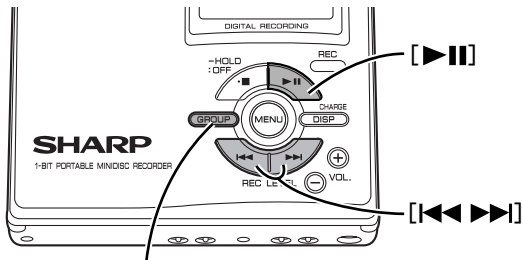
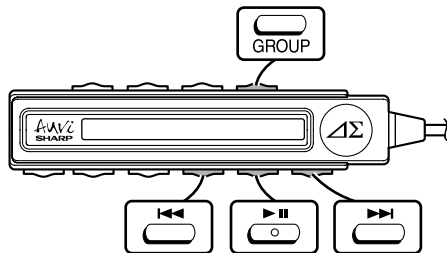
音とびについて

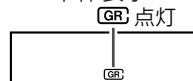
この製品は振動に対して、音とびしにくくなっていますが、ジョギングなど連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

音のエチケット

ヘッドホンからもれる「シャカシャカ」という音は、周囲の人にとって気になるものです。
特に電車やバスの中などの密集した場所では音量を下げ、他人の迷惑にならないように注意しましょう。

グループ録音したMDを聞く

グループ録音したMDを使用すると、設定されたアルバムごとやアーチストごとなど、好みのグループ別に再生することができます。

1 **グループ録音したMDを入れる。**
自動的にグループモードになります。
<リモコン表示>　　<本体表示>

GR 点灯　02G
GR 点灯

2 **[▶II] を押す。**
グループ再生すると、ノングループの曲は最後に再生されます。

グループ1				ノングループ			グループ2				グループ3				ノングループ
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	4 P曲

グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	4 P曲

すべてのノングループの曲は最後に再生します。

お知らせ

再生モードがお気に入り再生モード、お気に入りリピート再生モードになっていると、グループモードになっていても、グループ再生できません。
お気に入り再生やお気に入りリピート再生が優先されます。（お気に入り再生 ☞ P.58）

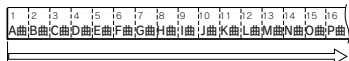
聞きたいグループを選ぶには

① 停止中または再生中に…
[GROUP]を押して、“ GR ”(リモコン)、
“ GR ”(本体)**を点滅させる。**

② **5秒以内に、[|◀◀] または [▶▶|]を押して、グループを選ぶ。**

グループモードを解除するには

停止中に…
[GROUP]を2秒以上押して、“ GR ”(リモコン)、
“ GR ”(本体)**を消灯させる。**
グループに関係なく録音した曲の順に再生します。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲

もう一度、[GROUP] を 2 秒以上押すと、グループモードになります。

お知らせ ....
再生モードがお気に入り再生モード、お気に入りリピート再生モードになっていると、[GROUP] を押しても操作を受け付けません。このときは、お気に入り再生 (MY) またはお気に入りリピート再生 (MY ⇆) 以外のモードに切り換えたあと (☞ P.56)、グループモードを解除したり、設定してください。

停止後の表示について

<リモコン表示>

グループ内の総曲数　グループ内の総再生時間

08G 25:10

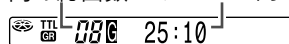
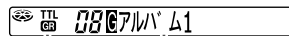
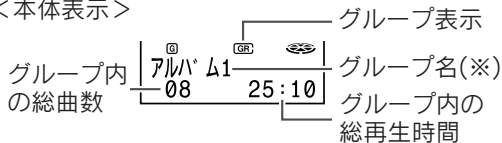
約3秒後、自動的に切り換わります。

08Gアルバム1

グループ表示　グループ名(※)

<本体表示>

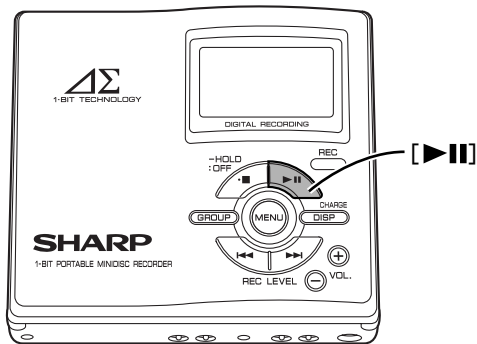
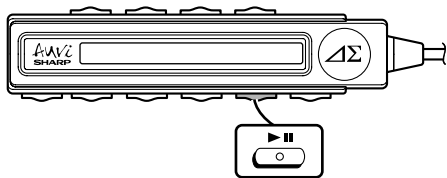
グループ表示
グループ名(※)
グループ内の総曲数
グループ内の総再生時間

アルバム1
08　25:10

“ G ”(リモコン)、“ G ”(本体)が表示中は、グループ内の総曲数、グループ名、グループ内の総再生時間が表示されます。

(※) グループ名が記録されていないときは、“Gr※※”(リモコン)、“GR ※※”(本体)と表示されます。(※※はグループ番号)
グループ録音されていない曲は、“Non-Gr(ノン グループ)”(リモコン)、“Non GROUP(ノン グループ)”(本体)と表示されます。

3
便利
再生
■グループ録音したMDを聞く

イントロ再生をする

曲の頭を約９秒ずつ聞くことができます。

1 停止中に…
[►II] を２秒以上押す。

<リモコン表示>　　<本体表示>

01 intro9　曲番　秒数

↓（曲の頭を9秒間再生したら）↓

02 intro9

↓（次の曲の頭を再生）↓

2 聞きたい曲がでたら、[►II] を押す。
通常の再生になります。

お知らせ

- 再生モードの設定が通常再生と全曲リピート再生以外のときは、イントロ再生できません。
- ディスクの全曲をイントロ再生すると、自動的にもとの再生に戻ります。

再生モードの種類について

RND（ランダム再生）

全曲を順不同に再生したあと、自動的に停止します。

1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 9 I曲 10 J曲 11 K曲
順不同に再生

グループ再生のときは、グループ内で順不同に再生し、グループ内を全曲再生した後は次のグループを順不同に再生します。

RND ⮌（ランダムリピート再生）

全曲を順不同に再生し、全曲をくり返します。

1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 9 I曲 10 J曲 11 K曲
順不同に再生
停止するまでくり返す

グループ再生のときは、グループ内で順不同に再生し、全グループを順にくり返します。

⮌（全曲リピート再生）

全曲をくり返し再生します。

1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 9 I曲 10 J曲 11 K曲
停止するまでくり返す

グループ再生のときは、グループ順に再生をくり返します。

1 ⮌（1 曲リピート再生）

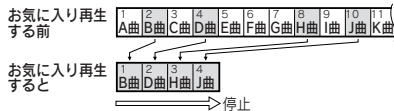
1 曲をくり返し再生します。

1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 H曲 6 I曲 7 J曲 8 K曲 9 E曲 10 F曲 11 G曲
停止するまでくり返す

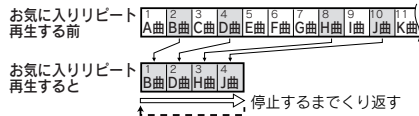
グループ再生のときは、選んだグループをくり返し再生します。

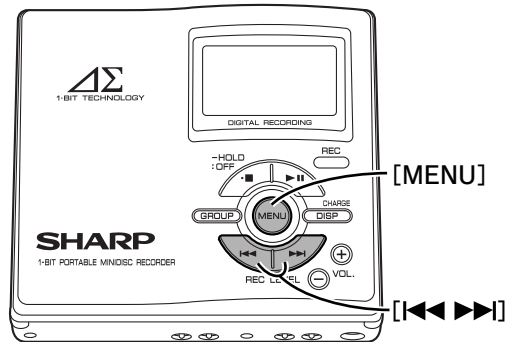
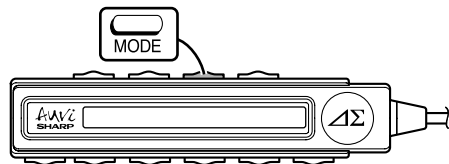
MY（お気に入り再生）

お気に入り登録が必要です。（☞ P.58）
お気に入り登録した曲を順番に再生したあと、自動的に停止します。

お気に入り再生する前：1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 9 I曲 10 J曲 11 K曲
お気に入り再生すると：1 B曲 2 D曲 3 H曲 4 J曲
停止

MY⮌（お気に入りリピート再生）

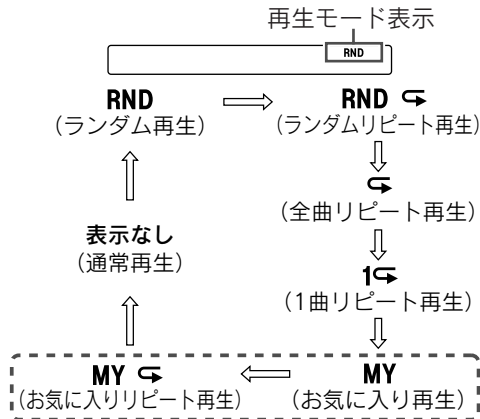
お気に入り登録が必要です。（☞ P.58）
お気に入り登録した曲をくり返し再生します。

お気に入りリピート再生する前：1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 9 I曲 10 J曲 11 K曲
お気に入りリピート再生すると：1 B曲 2 D曲 3 H曲 4 J曲
停止するまでくり返す

ランダム再生やリピート再生をする

再生モードを切り換えることにより、いろいろな再生を楽しむことができます。

リモコンで操作するとき

再生中に…

［MODE］を押す。

押すたびに切り換わります。

お気に入り登録したMDを入れたときのみ表示します。（☞ P.58）

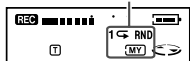
本体で操作するとき

1 再生中に…
［MENU］を押す。(☞ P.90、92)
メニュー選択モードになります。

2 **［|◀◀］または［▶▶|］を押して"PLAY MODE"を選び、[MENU] を押す。**

PLAY MODE
NORMAL

3 **[|◀◀] または [▶▶|] を押して再生モードを選び、［MENU］を押す。**

再生モード表示

RANDOM(RND) :ランダム再生
RND REPEAT(⟲ RND):ランダムリピート再生
ALL REPEAT(⟲) :全曲リピート再生
1 REPEAT(1⟲) :1 曲リピート再生

MY-NORMAL(MY) :お気に入り再生(※)
MY-REPEAT(MY ⟲) :お気に入りリピート再生(※)

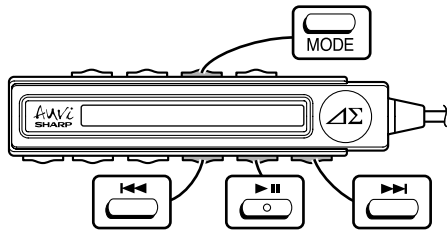
NORMAL :通常再生

(※) お気に入り登録したMDを入れたときのみ表示します。(☞ P.58)

お知らせ

- 停止中に操作したときは、再生モードを選んだあと、再生を始めてください。
- "TOC"（本体）表示中は、変更はできません。
- それぞれのリピート再生は、再生を止めるまで続きます。切り忘れに注意してください。
- ランダム再生・ランダムリピート再生・1 曲リピート再生中は、聞いている曲をこえて早送り・早戻しはできません。
- ランダム再生・ランダムリピート再生のときは、聞いている曲以前への頭出しはできません。
- ランダム再生を停止したあと、再びランダム再生を始めると、停止したところから残りの曲を再生します。
  ただし、電源を切ったときは、停止したところから改めて全曲をランダム再生します。
- お気に入り再生モード、お気に入りリピート再生モードになっていると、グループモードを設定したり、解除することはできません。

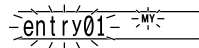
お気に入り再生する

お気に入りの曲だけを登録して、再生することができます。MD1 枚あたり 10 曲まで登録できます。また、登録したMDを取り出しても曲の登録は覚えています。（最大 9 ディスク）

お知らせ

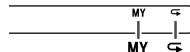
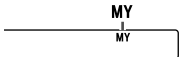
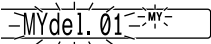
- 再生専用 MD も登録できます。
- 登録が 10 曲を超えると“MY full”（マイ フル）と表示され登録できません。
- 登録したMDが9枚を超えると、最も使用頻度の少ない登録情報から解除されます。(使用頻度が同じであれば最も古い登録情報が解除されます。)
- 録音、編集の操作をすると、そのMDのお気に入り登録は解除されます。

■ お気に入りの曲を登録する

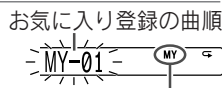
登録したい曲の再生中に…
リモコンの［▶II］を 2 秒以上押す。

entry01 MY

登録を追加するには、操作をくり返してください。

■ お気に入り登録した曲を再生する リモコン

1 再生中に…
［MODE］をくり返し押して、“MY”（マイ）または“MY ⟲”（マイ）を選ぶ。

MY .... お気に入り再生
MY ⟲ .... お気に入りリピート再生

2 **［I◀◀］または［▶▶I］を押して、登録した曲を選ぶ。**

お気に入り登録の曲順

- お気に入り再生モードになっていないときに、登録した曲を選ぶと、“MY”が3回点滅して知らせます。
- お気に入り登録した MD を入れたときは、“MY-entry”（マイ エントリー）(リモコン)、“MY-entryDISC”（マイ エントリー ディスク）(本体)が表示されます。また、再生専用 MD や誤消去防止状態になっていたときは、自動的にお気に入り再生モードになります。

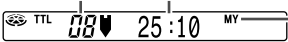
■ お気に入り登録を１曲ずつ解除する　リモコン

① [MODE] をくり返し押して、“MY（マイ）” を選ぶ。

MY

② [I◀◀] または [▶▶I] を押して、登録を解除したい曲を選ぶ。

③ 選んだ曲の再生中に…
リモコンの [▶II] を２秒以上押す。
選んだ曲の登録が解除されます。

MYdel.01 MY

■ ＭＤ内のお気に入り登録曲全てを解除する　本体

① お気に入り登録した MD を入れて、停止中に…
[MENU] を押す。(☞ P.90、92、93)

② [I◀◀] または [▶▶I] を押して “SET UP（セット アップ）” を選び、[MENU] を押す。

SETUP

③ [I◀◀] または [▶▶I] を押して “MY DELETE（マイ デリート）” を選び、[MENU] を押す。

SETUP
MY DELETE
⇩
MY DELETE
OK?

④ [MENU] を押す。
お気に入り登録が解除されます。

停止後の表示について

<リモコン表示>

お気に入り登録の総曲数　お気に入り登録の総再生時間

TTL 08 25:10 MY　マイディスク表示

約3秒後、自動的に切り換わります。

TTL 08 NoNAME MY

“▼” が表示中は、お気に入り登録の総曲数や総再生時間が表示されます。

<本体表示>　マイディスク表示

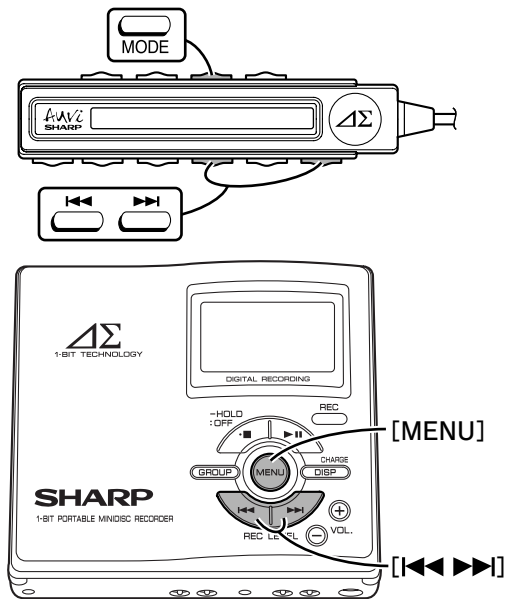
NO NAME
08 25:10

お気に入り登録の総曲数　お気に入り登録の総再生時間

お知らせ

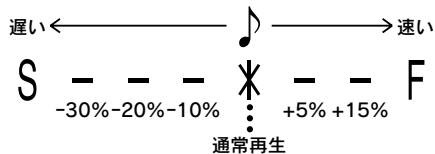
- お気に入り登録していない曲を再生中に、お気に入り再生モードに変更したときは、その曲が終わったあと、お気に入り再生になります。
- お気に入り再生モードでは、登録曲内での頭出し、早送り、早戻しになります。
- お気に入り再生中または、イントロ再生中はお気に入り登録できません。

再生スピードの調整をする

再生スピードを速くしたり、遅くすることができます。

リモコンで操作するとき

1 再生中に…
[MODE] を2秒以上押す。

S---♪--F

2 10秒以内に…
[|◀◀] または [▶▶|] を押して、再生スピードを選ぶ。
♪を移動させて、スピードの調整をします。

3 **[MODE] を押す。**
設定が終了します。

本体で操作するとき

1 再生中に…
[MENU] を押す。(☞ P.90、92、93)
メニュー選択モードになります。

2 **[I◀◀] または [▶▶I] を押して "PLAY SPEED"(プレイ スピード) を選び、[MENU]を押す。**

PLAY SPEED
± 0%

3 **[I◀◀] または [▶▶I] を押して再生スピードを選び、[MENU] を押す。**

PLAY SPEED
+ 5%

− 30%	− 20%	− 10%
さらに遅く	より遅く	少し遅く

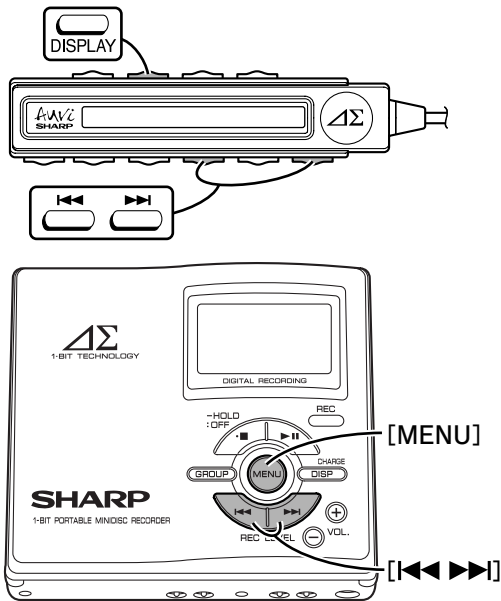
± 0%	+ 5%	+ 15%
通常再生	少し速く	より速く

通常再生に戻すには

リモコン：操作2で "♪" を "⁑" の位置に移動させる。
本体：操作３で **"± 0%"** を選ぶ。

お知らせ
- 停止中に操作したときは、設定が終了したあと再生を始めてください。
- 再生スピードを通常再生以外に設定して、時間表示に切り換えると、**"s"**（本体）が点滅します。
- 再生スピードの設定は、録音操作やディスクを交換すると、通常再生となります。

アラームを設定する

時間を設定しておくと、アラーム音でお知らせします。(1 ～ 99 分)

リモコンで操作するとき

1 再生中または停止中に…
[DISPLAY] を 2 秒以上押す。

ALARMoff

2 10 秒以内に…
[|◀◀] または [▶▶|] を押して "ALARMon"(アラーム オン) を選び、[DISPLAY] を押す。

ALARMon

3 10 秒以内に…
[|◀◀] または [▶▶|] を押して時間を設定し、[DISPLAY] を押す。

10 min

1 分単位で 1 分から 99 分まで設定できます。

設定した時刻になると…

"ピピッ、ピピッ…" とアラーム音がヘッドホンから1分間くり返し鳴ります。

このとき **"ALARM!"**(アラーム) (リモコン)、"🔔" (本体)が点滅します。

<リモコン表示>

<本体表示>

本体で操作するとき

1 再生中または停止中に…
[MENU] を押す。(☞ P.90、92、93)
メニュー選択モードになります。

2 **[|◀◀] または [▶▶|] を押して"ALARM(アラーム)"を選び、[MENU] を押す。**

ALARM OFF

3 **[|◀◀] または [▶▶|] を押して"ON(オン)"を選び、[MENU] を押す。**

ALARM ON

4 **[|◀◀] または [▶▶|] を押して時間を設定し、[MENU] を押す。**

10min

1分単位で1分から99分まで設定できます。

アラーム音を止めるときは…

リモコンまたは本体のいずれかのボタンを押す。
"ピピピ…"と鳴って止まります。

アラーム設定時間を変更するには

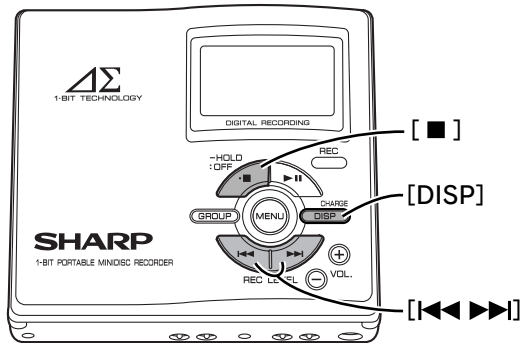
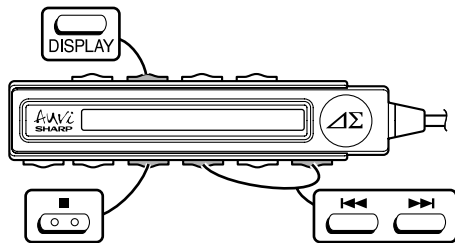
操作1から設定をやり直します。

アラーム設定を解除するには

リモコン：操作2で"**ALARM(アラーム)off(オフ)**"を選びます。
本体：操作3で "**OFF(オフ)**"を選びます。

お知らせ

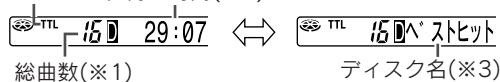
- アラームを設定したあと、再生中に [■] を押すと、アラーム残り時間が約1秒間表示されます。
- アラームを設定したあと電源を切ると、アラーム残り時間が表示され、設定した時刻になるとアラーム音がなります。
- 電池残量がなくなったときは、アラーム音が"ピピ"と鳴りアラームは解除されます。
- 録音操作をすると、アラーム設定は解除されます。
- アラームを設定すると、充電スタンドに置いても充電はされません。充電するときは、アラーム設定を解除してください。

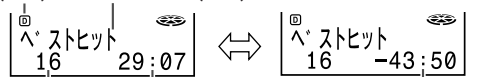
表示を切り換える

■ 停止中に切り換える

表示の切り換えは、リモコンと本体で独立して働きます。

<全曲の確認をする>

リモコン

停止中に…
[DISPLAY] を押す。
押すたびに切り換わります。

TTL点灯　総再生時間(※2)
16D 29:07 ⇔ 16Dベストヒット
総曲数(※1)　ディスク名(※3)

停止中に…
[DISP] を押す。
押すたびに切り換わります。

D 点灯
(※4)　ディスク名(※3)
ベストヒット 16 29:07 ⇔ ベストヒット 16 -43:50
総曲数(※1)　総再生時間(※2)　録音残り時間

<曲ごとの確認をする>

リモコン

① 停止中に…
[⏮] または [⏭] を押して、曲を選ぶ。

② **[DISPLAY] を押す。**
押すたびに切り換わります。

TTL消灯

03 3:53 ⇔ 03LOVE

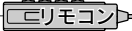
曲番 曲の再生時間 曲名

全曲の確認をするには、[■] を押してください。
"**TTL**" が点灯します。

停止中に…
[⏮] または [⏭] を押して、曲を選ぶ。

全曲の確認をするには、[■] を押してください。
" D " または " G " が点灯します。

(※1～4)グループ再生またはお気に入り再生のときは、表示が異なります。

	グループ再生	お気に入り再生
※1	グループ内の総曲数	お気に入り登録曲の総曲数
※2	グループ内の総再生時間	お気に入り登録曲の総再生時間
※3	グループ名	ディスク名
※4	G 点灯	D 点灯

グループ再生とお気に入り再生が同時に設定されているときは、▭ 印の表示になります。

お知らせ
- 録音残り時間は設定されている録音モードによって時間の表示が異なります。
- 再生専用MDでは、録音残り時間は表示されません。
- この製品は、MDの標準規格に従ったカタカナ文字の表示が可能になっています。他の機器でMDを再生した場合は、カタカナ表示にならないことがあります。

表示を切り換える（続き）

■ 再生中に切り換える

表示の切り換えは、リモコンと本体で独立して働きます。

(※1) 曲名が記録されていないときは、"NO NAME"（ノー ネーム）と表示されたあとキャラクターが表示されます。

(※2) グループ再生のとき、グループ名が表示されます。 ディスク名が記録されていないときは、"NO NAME"（ノー ネーム）と表示されたあとキャラクターが表示されます。

お知らせ

- 経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。
- 録音残り時間は設定されている録音モードによって時間の表示が異なります。
- この製品は、MDの標準規格に従ったカタカナ文字の表示が可能になっています。他の機器でMDを再生した場合は、カタカナ表示にならないことがあります。

初期設定を変える

本体

1 MDを入れる。(☞P.22)

2 停止中に［MENU］を押す。
(☞P.90、92、93)
メニュー選択モードになります。

3 ［|◀◀］または［▶▶|］を押して“SET UP（セット アップ）”を選び、［MENU］を押す。

SETUP

4 ［|◀◀］または［▶▶|］を押してメニューを選び、［MENU］を押す。

SETUP
BEEP

5 ［|◀◀］または［▶▶|］を押して設定項目を選び、［MENU］を押す。

BEEP
OFF

メニュー	設定項目	
BEEP（ビープ） キータッチ音	ON ※ OFF	鳴らす 消す
AUTO PLAY（オート プレイ） オートプレイ	ON ※ OFF	設定 解除
POWER SAVE（パワー セーブ） オートパワーセーブ	AUTO ※ OFF	設定 解除
DIGI LEVEL（デジタル レベル） デジタル録音レベルモード	AUTO SAVE ※ NOT SAVE	設定を保持する 設定を保持しない
REMOTE LCD（リモート） リモコンのバックライト	NORMAL ※ ALL TIME AUTO OFF	設定内容については次のページを参照ください。

※印は、お買いあげ時の設定です。

初期設定を変える（続き）

キータッチ音

操作したときに“ピッ”という音を鳴らさないようにすることができます。

オートプレイ

MDを入れても、自動再生しないようにすることができます。

オートパワーセーブ

振動が多い所で使用するときは、解除すると音とびをしにくくすることができます。
（電池持続時間は短くなります。）

オートパワーセーブについて

再生中は最大約40秒間（ステレオ（SP/STEREO）モード時）の音楽情報を蓄積しています。その蓄積時間を5～40秒の間で自動的に調整して、消費電力を少なくするのが、**「オートパワーセーブ」**です。
この機能を解除すると、蓄積時間は調整されません。

- ACアダプターで使用するときは、設定にかかわらず約40秒になります。
- 録音されたときの録音モードにより、蓄積時間は異なります。

デジタル録音レベルモード

AUTO SAVE（オート セーブ）： デジタル録音レベルを一度調整すると、設定内容は、録音を停止しても保持されます。

NOT SAVE（ノット セーブ）： 録音を停止するごとに、デジタル録音レベルは、**“D.L. 0dB”** に戻ります。

リモコンのバックライト

リモコンの照明パターンを変更することができます。

NORMAL（ノーマル）
表示： 常に表示
バックライト： 操作後、約10秒点灯

ALL TIME（オール タイム）
表示： 常に表示
バックライト： 操作後、約10秒点灯（ACアダプターで使用したときは常に点灯）

AUTO OFF（オート オフ）
表示： 操作後、約10秒表示
バックライト： 操作後、約10秒点灯

4章

編集

MDの誤消去防止について

MDを編集するときは、誤消去防止用ツマミが閉じていることを確かめてください。

録音したMDにタイトルをつける

MDの編集は、本体での操作になります。

再生専用MDや誤消去防止状態（☞ P.26）のMDを編集することはできません。

ディスク名をつける（ディスクネーム）

1 **録音したMDを入れ、グループモード設定している場合は解除する。（☞P.53）**

GR 消灯

2 **［■］を押して、“D”を点灯させる。**

D 点灯

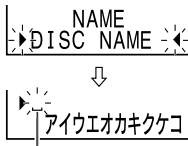
3 **［MENU］を押す。**（☞P.90、92）

メニュー選択モードになります。

4 **［⏮］または［⏭］を押して“NAME（ネーム）”を選び、［MENU］を押す。**

NAME

5 **“DISC（ディスク） NAME（ネーム）”が表示したら、［MENU］を押す。**

NAME
DISC NAME
⇩
アイウエオカキクケコ

文字の入力状態になります。

文字の入る位置（カーソル）

6 **［DISP］を押して、文字の種類を選ぶ。**

ABCDEFGHIJ

押すたびに、カタカナ→アルファベット（大文字）→アルファベット（小文字）→数字・記号と切り換わります。

7 **［⏮］または［⏭］を押して入れたい文字を選び、［MENU］を押す。**

選んでいる文字

この操作をくり返し、続きの文字を入力します。

8 **文字の入力が終わったら、［MENU］を2秒以上押す。**

COMPLETE

ディスク名が登録されます。

グループ名をつける（グループネーム）

1 **グループ録音したMDを入れる。**

G点灯　GR点灯

2 停止中に…
［GROUP］を押して、"GR"を点滅させる。

3 5秒以内に…
［|◀◀］または［▶▶|］を押して、名前をつけたいグループを選ぶ。

4 ［MENU］を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

5 **［|◀◀］または［▶▶|］を押して"NAME（ネーム）"を選び、［MENU］を押す。**

NAME

6 **"GROUP NAME（グループネーム）"が表示したら、［MENU］を押す。**
文字の入力状態になります。

NAME
GROUP NAME
⇩
03
アイウエオカキクケコ

文字の入る位置（カーソル）

7 **文字を入力（☞P.70操作6～7）して、［MENU］を2秒以上押す。**
グループ名が登録されます。

曲名をつける（トラックネーム）

1 停止中、または一時停止中に…
［|◀◀］または［▶▶|］を押して、曲名をつける曲を選ぶ。

T点灯

2 ［MENU］を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

3 **［|◀◀］または［▶▶|］を押して"NAME（ネーム）"を選び、［MENU］を押す。**

NAME

4 **"TRACK NAME（トラックネーム）"が表示したら、［MENU］を押す。**

NAME
TRACK NAME
⇩
03
アイウエオカキクケコ

文字の入力状態になります。

文字の入る位置（カーソル）

5 **文字を入力（☞P.70操作6～7）して、［MENU］を2秒以上押す。**
曲名が登録されます。

録音したMDにタイトルをつける（続き）

文字を追加するとき 例)「ヘスト」→「ベスト」

① **文字の入力状態にする。**
ディスク名を修正するとき ☞ **P.70** 操作1～5
グループ名を修正するとき ☞ **P.71** 操作1～6
曲名を修正するとき ☞ **P.71** 操作1～4

② **［－］または［＋］を押して、追加したい位置を選ぶ。**

追加したい位置

③ **追加する文字を選ぶ。**
（☞ **P.70** 操作6～7）

追加したい文字

⇩ 追加

④ **［MENU］を2秒以上押す。**

COMPLETE

文字を削除するとき 例)「BESUT」→「BEST」

① **文字の入力状態にする。**
ディスク名を修正するとき ☞ **P.70** 操作1～5
グループ名を修正するとき ☞ **P.71** 操作1～6
曲名を修正するとき ☞ **P.71** 操作1～4

② **［－］または［＋］を押して、削除したい文字を選ぶ。**

削除したい文字

BESUT
ABCDEFGHIJ

③ **［GROUP］を押す。**

BEST
ABCDEFGHIJ

④ **［MENU］を2秒以上押す。**

COMPLETE

文字を変更するとき

変更したい文字を削除したあと、新しい文字を追加してください。

スペース（空白）を入れるとき

文字の種類からスペースを選んで入力することもできますが、［+］を押すと、カーソルが右に移動して、その部分がスペースになります。

入力できる文字

カタカナ
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨ ラリルレロ ワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ ー／ ⬚
アルファベット（大文字）
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . , ／ ⬚
アルファベット（小文字）
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z . , ／ ⬚
数字・記号
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ! ” # $ % & ’ ( ) * + , − . ／ : ; < = > ? @ _ ` ⬚

⬚ はスペースです

濁音や半濁音を入れるとき

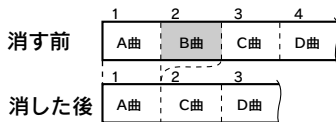
濁音や半濁音つきの文字（「ベ」や「パ」など）は、1文字で入れることはできません。濁音や半濁音をつけたい文字を入れたあと、次の文字として濁音（゛）や半濁音（゜）を入れます。

お知らせ

- 1枚のディスクには、ディスク名を1つ、グループ名を最大99グループ分、曲名を最大255曲分つけることができます。ディスク名、グループ名、曲名には、それぞれ最大40文字入れられ、合計約1,700文字入れられます。
- 名前に“ / ”を連続してつけることはできません。
- この製品でグループ録音したMDに、他の機器でディスク名をつけないでください。正しく動かなくなることがあります。
- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正しく表示されないことがあります。
- 他の機器でカタカナ入力されたMDは、この製品では正しく表示されないことがあります。
- ディスク名、グループ名または曲名で入力した文字が40文字を超えると“**NAME FULL**（ネーム フル）”と表示されます。
- 40文字入ったディスク名、グループ名または曲名を変更するとき“**NAME CUT**（ネーム カット）”が表示されます。文字を削除し、新しい文字を入れてください。
- 名前の先頭に“**LP:**”を入力すると、“**LP:**”が表示されないことがあります。

曲を消す

1曲を消す（トラックイレース）

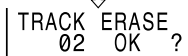
	1	2	3	4
消す前	A曲	B曲	C曲	D曲
消した後	A曲	C曲	D曲	

1 再生の一時停止中に…
[|◀◀] または [▶▶|] を押して、消したい曲を選ぶ。

2 [MENU] を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

3 [|◀◀] または [▶▶|] を押して "EDIT"（エディット）を選び、[MENU] を押す。

EDIT

4 [|◀◀] または [▶▶|] を押して "Tr.ERASE"（トラックイレース）を選び、[MENU] を押す。

EDIT
Tr. ERASE
⇩
TRACK ERASE
02 OK ?
（確認表示です）

5 [MENU] を押す。
選んだ曲が消えます。

COMPLETE

続けて他の曲を消すには

操作1～5をくり返します。

ご注意

曲を消すと、もとには戻りません。
消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

お知らせ

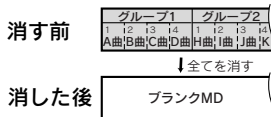
- グループ内の全て曲を消すと、そのグループとグループ名は消えます。
- NetMD機器でチェックアウトした曲は、トラックイレースできません。
- 操作を中止するには、**[■]**を押してください。

すべての曲を消す（オールイレース）

消す前

↓全てを消す

消した後

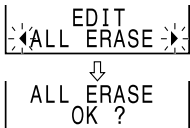
ブランクMD

1 停止中に…
［MENU］を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

2 **［|◀◀］または［▶▶|］を押して“EDIT（エディット）”を選び、［MENU］を押す。**

EDIT

3 **［|◀◀］または［▶▶|］を押して“ALL（オール） ERASE（イレース）”を選び、［MENU］を押す。**

⇩

ALL ERASE
OK ?

（確認表示です）

4 ［MENU］を押す。
すべての曲が消えます。

COMPLETE

ご注意

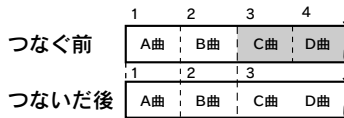
曲を消すと、もとには戻りません。
消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

お知らせ

NetMD機器でチェックアウトした曲が含まれるディスクをオールイレースしようとすると“Protect（プロテクト） ??”と表示されます。そのまま[MENU]を押すとオールイレースされます。
オールイレースしない場合は、[■]を押してください。

2曲を1つにつなぐ（コンバイン）

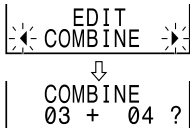
	1	2	3	4
つなぐ前	A曲	B曲	C曲	D曲

	1	2	3	
つないだ後	A曲	B曲	C曲	D曲

1 再生の一時停止中に…
[⏮]または[⏭]を押して、つなぐ後ろの曲を選ぶ。

2 [MENU] を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

3 **[⏮]または[⏭]を押して"EDIT（エディット）"を選び、[MENU]を押す。**

EDIT

4 **[⏮]または[⏭]を押して"COMBINE（コンバイン）"を選び、[MENU]を押す。**

EDIT
COMBINE
⇩
COMBINE
03 + 04 ?
（確認表示です）

5 [MENU] を押す。
曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

COMPLETE

お知らせ
NetMD機器でチェックアウトした曲とのコンバインはできません。

つなぐ曲に曲名がついているとき

曲名は、前の曲のものになります。ただし、前の曲に曲名がついていないときは、うしろの曲名がつきます。

こんなときは、つなげられないことがあります

- デジタル入力で録音した曲と、アナログ入力で録音した曲。
- 12 秒以下の短い曲。
- 録音モード（ステレオ録音、2 倍長時間録音、4 倍長時間録音、モノラル録音）の異なる曲。

離れた 2 つの曲をつなぐとき

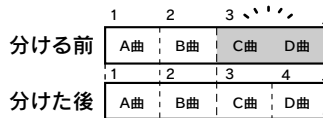
「ムーブ」（☞ P.79）を使って 2 つの曲を連続させたあと、つないでください。

グループにしている曲はグループ内の曲しかつなぐことができません。別のグループの曲とつなぐときは「グループチェンジ」（☞ P.82）を使って曲を移動させたあとつないでください。

曲を編集する（続き）

1曲を2つに分ける（デバイド）

	1	2	3	
分ける前	A曲	B曲	C曲	D曲

	1	2	3	4
分けた後	A曲	B曲	C曲	D曲

1 再生中に…
曲を分けたいところで［▶II］を押して、再生の一時停止状態にする。

2 ［MENU］を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

3 ［I◀◀］または［▶▶I］を押して“EDIT（エディット）”を選び、［MENU］を押す。

```
EDIT
```

4 ［I◀◀］または［▶▶I］を押して“DEVIDE（デバイド）”を選び、［MENU］を押す。

```
EDIT
DIVIDE
```
⇩
```
DIVIDE
OK ?
```
（確認表示です）

5 ［MENU］を押す。
曲が分けられ、うしろの曲の頭で一時停止になります。

```
COMPLETE
```

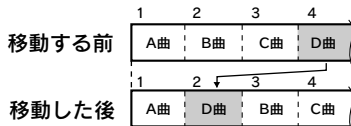
分ける曲に曲名がついているとき

曲を分けると、両方の曲に同じ曲名がつきます。ただし、“TOC（トック） FULL（フル）”状態では、うしろの曲に曲名がつかないことがあります。

分けられる曲数について

1枚のMDで最大255曲まで曲を分けることができます。
ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。（☞ P.102）

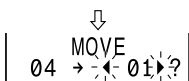
お知らせ ....
NetMD機器でチェックアウトした曲のデバイドはできません。

曲を移動する（ムーブ）

1 再生の一時停止中に…
［⏮］または［⏭］を押して、移動する曲を選ぶ。

2 ［MENU］を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

3 ［⏮］または［⏭］を押して“EDIT（エディット）”を選び、［MENU］を押す。

EDIT

4 ［⏮］または［⏭］を押して“MOVE（ムーブ）”を選び、［MENU］を押す。

（確認表示です）

5 ［⏮］または［⏭］を押して、移動先を選ぶ。

MOVE
04 → 02 ?

移動先の曲番
（確認表示です）

6 ［MENU］を押す。
曲が移動し、その曲の頭で停止になります。

別のグループに移動するとき

グループ録音している曲は、グループ内での移動しかできません。別のグループに移動するには「グループチェンジ」（☞ P.82）を使って曲を移動してください。

お知らせ
移動したい曲の頭で停止中に、移動することもできます。

スタンプする前に

次のような、同じ曲を録音したMDが2枚あるときは、1枚目のMD（マスターMD）の文字情報（ディスク名、グループ名、曲名）をもう1枚のMD（スタンプ用MD）に、スタンプすることができます。

1. マスターMDとは

曲および文字情報の入った録音用MD。

再生専用MDからは文字情報をスタンプすることはできません。

2. スタンプ用MDとは

マスターMDと同じ曲が同じ順番で入ったMD。（曲のみ）

マスターMDとスタンプ用MDの総曲数が一致していることを確かめてください。

他のMDからタイトルをスタンプする（ネームスタンプ）

1 マスターMDを入れる。

マスターMD

マスターMDとスタンプ用MDの区別をつけておいてください。

2 停止中に…
[MENU]を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

3 [⏮]または[⏭]を押して"EDIT"（エディット）を選び、[MENU]を押す。

EDIT

4 [⏮]または[⏭]を押して"NAME STAMP"（ネーム スタンプ）を選び、[MENU]を押す。

EDIT
NAME STAMP
⇩
NAME STAMP
READ OK ?

（情報を読み込んでよいかの確認表示です）

他の MD からタイトルをスタンプする（ネームスタンプ）

マスターMD

5 [MENU] を押す。

Reading!
（情報を読み込んでいます。）
⇩
NAME STAMP
CHANGE MD

6 “CHANGE MD”（チェンジ）と表示されたらマスター MD を取り出す。

NAME STAMP
INSERT MD

マスター MD を取り出すとき、電源を切らないでください。操作が中止されます。

スタンプ用MD

7 スタンプ用 MD を入れる。

スタンプ用 MD

TOC READ
⇩
NAME STAMP
WRITE OK ?
（情報を書き込んでよいかの確認表示です）

スタンプ用MD

8 [MENU] を押す。
情報の記録が終わり、停止状態になります。

Writing!
⇩
COMPLETE

マスターMDとスタンプ用MDの総曲数（トラック数）が一致していないときは、次のように表示され、電源が切れます。
（このようなときは、編集操作で総曲数を一致させてください。）

Can't STAMP

お知らせ ....

- グループ録音されていないMDから、グループ録音されているMDにスタンプすると、ディスク名、曲名はつきますが、グループ分けはなくなります。
- グループ録音されているMDから、グループ録音されていないMDにスタンプすると、自動的にグループ分けされます。

グループを編集する

曲を別のグループに移動する（グループチェンジ）

移動する前

グループ1				ノングループ			グループ2				グループ3				
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	4 P曲

移動した後

グループ1					ノングループ			グループ2			グループ3				
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	5 I曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	1 H曲	2 J曲	3 K曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	4 P曲

1 **グループ録音したMDを入れる。**

GR 点灯

2 再生の一時停止中に…
[|◀◀] または [▶▶|] を押して、移動したい曲を選ぶ。

3 **[MENU] を押す。**(☞P.90、92)
メニュー選択モードになります。

4 **[|◀◀] または [▶▶|] を押して "GROUP"（グループ）を選び、[MENU] を押す。**

GROUP

5 **[|◀◀] または [▶▶|] を押して "CHANGE"（チェンジ）を選び、[MENU] を押す。**

GROUP CHANGE

6 **[|◀◀] または [▶▶|] を押して、移動先のグループを選ぶ。**

02 Gr02 →
Gr01 ?

移動先のグループ
（確認表示です）

7 **[MENU] を押す。**
曲が移動し、その曲の頭で停止になります。

COMPLETE

お知らせ
- グループ内のすべての曲を別のグループに移動すると、そのグループとグループ名は消えます。
- ノングループの曲も、同じ操作でグループに移動できます。
- 移動したい曲の頭で停止中に、移動することもできます。

録音する前にグループを作成する（グループリザーブ）

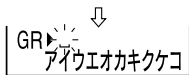
曲はあとから録音

1 **MDを入れる。**

2 停止中に…
［MENU］を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

3 **［I◀◀］または［▶▶I］を押して"GROUP"（グループ）を選び、［MENU］を押す。**

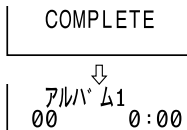
GROUP

4 **［I◀◀］または［▶▶I］を押して"RESERVE"（リザーブ）を選び、［MENU］を押す。**

文字の入力状態になります。

5 **グループ名を入力する。（☞ P.70操作6～7）**
名前を入力しないとグループを作成することはできません。

6 **［MENU］を2秒以上押す。**

COMPLETE

ｱﾙﾊﾞﾑ1
00　0:00

作成したグループが表示されます。

作成したグループに録音するには

「グループ録音する」（☞ **P.40**）をごらんください。

お知らせ ....

グループリザーブしても曲が録音されていないと、再生されません。（グループ名も表示されません。）
グループを確認したいときは、「聞きたいグループを選ぶには」（☞ **P.53**）をごらんください。

グループを編集する（続き）

グループを先頭に移動する（グループトップムーブ）

移動する前

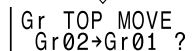
グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	E曲	F曲	G曲	P曲

移動した後

グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
H曲	I曲	J曲	K曲	A曲	B曲	C曲	D曲	L曲	M曲	N曲	O曲	E曲	F曲	G曲	P曲

1 **グループ録音したMDを入れる。**

GR 点灯

2 停止中に…
[GROUP]を押して、"GR"を点滅させる。

3 5秒以内に…
[|◀◀]または[▶▶|]を押して、移動したいグループを選ぶ。

4 **[MENU]を押す。**（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

5 **[|◀◀]または[▶▶|]を押して"GROUP（グループ）"を選び、[MENU]を押す。**

GROUP

6 **[|◀◀]または[▶▶|]を押して"TOP MOVE（トップ ムーブ）"を選び、[MENU]を押す。**

GROUP
TOP MOVE
⇩
Gr TOP MOVE
Gr02→Gr01 ?
（確認表示です）

7 **[MENU]を押す。**
グループがMDの先頭に移動します。

COMPLETE

お知らせ

- グループ名が記録されていると、グループトップムーブをしてもグループ名は変わりません。
- ノングループや曲が録音されていないグループはグループトップムーブすることはできません。

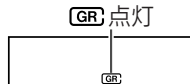
ノングループの曲をグループの後に移動する（グループアレンジ）

移動する前

グループ1				ノングループ			グループ2				グループ3				
1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	4
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲

移動した後

グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	E曲	F曲	G曲	P曲

1 グループ録音した MD を入れる。

2 停止中に…
［MENU］を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

3 ［⏮］または［⏭］を押して "GROUP（グループ）" を選び、［MENU］を押す。

4 ［⏮］または［⏭］を押して "ARRANGE（アレンジ）" を選び、［MENU］を押す。

（確認表示です）

5 ［MENU］を押す。

COMPLETE

ノングループの曲が最後に移動します。

ご注意 ....
グループアレンジをすると、ノングループの曲はすべて後に移動されるため、元の曲順がわからなくなり、もとに戻せなくなることがあります。
移動してもよいか、よく確かめてから操作してください。

グループを編集する（続き）

グループを消す（グループイレース）

消す前

グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	E曲	F曲	G曲	P曲

消した後

グループ1				グループ2				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	L曲	M曲	N曲	O曲	E曲	F曲	G曲	P曲

1 **グループ録音したMDを入れる。**

2 停止中に…
［GROUP］を押して、“GR”を点滅させる。

3 5秒以内に…
［|◀◀］または［▶▶|］を押して、消したいグループを選ぶ。

4 **［MENU］を押す。**（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

5 **［|◀◀］または［▶▶|］を押して“GROUP（グループ）”を選び、［MENU］を押す。**

6 **［|◀◀］または［▶▶|］を押して“Gr&TrERASE（イレース）”を選び、［MENU］を押す。**

GROUP
Gr&TrERASE
⇩
Gr&TrERASE
Gr02 OK ?

（確認表示です）

7 **［MENU］を押す。**
選んだグループが消えます。

COMPLETE

ご注意 ……………………………………

グループを消すと、もとには戻りません。
消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

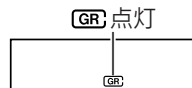
お知らせ ……………………………………

- グループを消すと、そのグループとグループ名は消えます。
- NetMD機器でチェックアウトした曲が含まれるグループはグループイレースできません。

グループ情報を消去する（グループキャンセル）

	グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
キャンセルする前	1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	4 P曲
キャンセルした後	1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	5 H曲	6 I曲	7 J曲	8 K曲	9 L曲	10 M曲	11 N曲	12 O曲	13 E曲	14 F曲	15 G曲	16 P曲

1 グループ録音したMDを入れる。

GR 点灯

2 停止中に…
［MENU］を押す。（☞P.90、92）
メニュー選択モードになります。

3 ［|◀◀］または［▶▶|］を押して“GROUP（グループ）”を選び、［MENU］を押す。

GROUP

4 ［|◀◀］または［▶▶|］を押して“CANCEL（キャンセル）”を選び、［MENU］を押す。

（確認表示です）

5 ［MENU］を押す。

COMPLETE

グループ情報が消去されます。

ご注意……………………………………………
グループキャンセルすると全てのグループ情報が消去されます。
消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

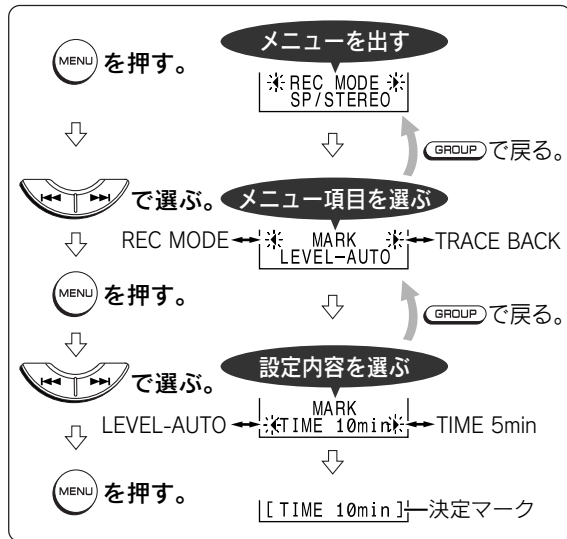
5 章

参考

メニュー選択について

本機では、メニューから選んで各機能を設定･確認することができます。

メニュー選択のしかた

(例：オートマークを10分に設定するとき)

◀マークは選択中の項目と、選択可能な方向を表しています。

◀　▶	左右に選択できる項目があります。
▶　◀	左右のどちらにも選択できる項目はありません。
◀	左に選択できる項目があります。
▶	右に選択できる項目があります。

メニュー選択中のお知らせ

- メニューの操作中は、次の操作までを約30秒以内に行ってください。
- 操作中に[GROUP]を押すと、1つ前の表示に戻ります。“MENU CANCEL?”(メニュー キャンセル)と表示されたときは、“YES”(イエス)(操作を中止するとき)、または“NO”(ノー)(操作を続けるとき)を選んで、[MENU]を押してください。
- 操作を中止するには、[■]を押してください。
- メニュー選択中に設定を変更していても、確定していなければ、その設定は解除されます。

メニュー一覧

メニューボタンから選択できるメニュー例の一覧です。

録音一時停止中のメニュー

※1：マイクからの録音時は表示しません。
※2：デジタル入力からの録音時は働きません。
※3：グループ録音時のみ表示します。
※4：トレースバック録音時は表示しません。
※5：マイクからの録音時のみ表示します。

メニュー一覧（続き）

再生、一時停止、停止中のメニュー

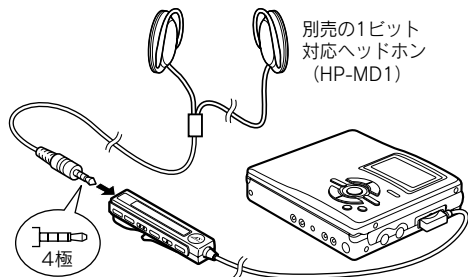
次のページへ

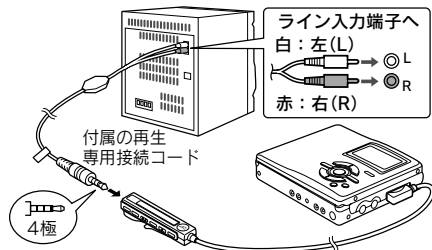
前のページより
PLAY SPEED ± 0%
PLAY SPEED -30%
PLAY SPEED -20%
PLAY SPEED -10%
PLAY SPEED ± 0%
PLAY SPEED + 5%
PLAY SPEED +15%
ALARM OFF
ALARM OFF
ALARM ON
SETUP
※2、3
SETUP BEEP
BEEP ON
BEEP OFF
SETUP AUTO PLAY
AUTO PLAY ON
AUTO PLAY OFF
SETUP POWER SAVE
POWER SAVE AUTO
POWER SAVE OFF
SETUP DIGI LEVEL
DIGI LEVEL AUTO SAVE
DIGI LEVEL NOT SAVE
SETUP REMOTE LCD
REMOTE LCD NORMAL
REMOTE LCD ALL TIME
REMOTE LCD AUTO OFF
SETUP MY DELETE
※5
：[MENU]を押す。
：[|◀◀]または[▶▶|]を押す。
※1：BASS OFF時は表示しません。
※2：再生中は表示しません。
※3：一時停止中は表示しません。
※4：一時停止中のみ表示します。
※5：マイディスク(MY点灯)時のみ表示します。
※6：ディスク選択(D点灯)時のみ表示します。
※7：曲選択(T点灯)時のみ表示します。
※8：グループ選択(G点灯)時のみ表示します。

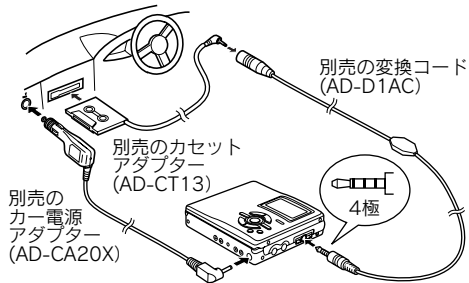
外部機器と接続して聞く

本機は「4極プラグヘッドホンや4極プラグ接続コード」を接続したときに性能を発揮するように設計されています。市販の3極プラグヘッドホンや3極プラグ接続コードを使用した場合は、方式の違いから「モバイル1ビットデジタルアンプ」本来の性能を十分に発揮できません。

- ステレオで聞く場合は、付属の再生専用接続コードをご使用ください。
- カセットアダプターを使用するときは、別売の変換コード（AD-D1AC）をご使用ください。
- **接続するときは、各機器の電源を切るか、または、音量を「0」にしてください。**

別売のヘッドホンで聞く

使用するヘッドホンによっては、電池持続時間が変わります。
ヘッドホンは、直接本体につなぐこともできます。

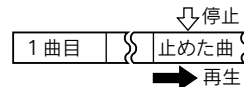
ステレオで聞く

- 他の機器で録音するときは、この製品のキータッチ音を消しておいてください。（☞ P.67）
消さないとキータッチ音も録音されます。
- 録音は、アナログ録音になります。
- 文字情報は記録されません。
- 接続する機器によっては、再生音の音量レベルが低くなります。

カーステレオで聞く

- 別売のカー電源アダプター（AD-CA20X）の出力電圧はDC 4.5Vですが、本機のDC 5V IN端子につないで使用できます。
- 音量は、この製品と接続した機器の両方で調整してください。
- 運転中は、1ビットポータブルMDレコーダーを操作しないでください。事故の原因となります。
- 本体は、運転に支障のない安定した位置に置いてください。不安定な位置に置くと、落下や移動などで事故の原因となります。
- 車内など高温になる場所には、放置しないでください。故障の原因となります。
- 別売の変換コード(AD-D1AC)は、市販の３極プラグヘッドホンには使用できません。

カー電源アダプターについて

カー電源で使用するときは、別売のカー電源アダプター（AD-CA20X）が必要です。
または別売のカー電源アダプター（AD-CA55X）とプラグアダプター（AD-M66PA）の併用で使用することもできます。
指定以外のものは、使用しないでください。

■ カー電源アダプターを使用すればこのような使いかたができます。

1. 再生中に車のエンジンキーを“**切**”にすると、この製品の電源も切れます。
(一部、切れない車種もあります。)
2. このあと、エンジンキーを“**入**”にすると、止めた曲の頭から再生が始まります。

カー電源アダプターで使用するときは、充電池を取り出してください。
充電池が入っていると、再生中に車のエンジンを“**切**”にしても再生が続き、本体の電源は切れません。

充電池について

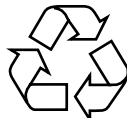
ニッケル水素充電池の特性について

- 付属の充電池は、ニッケル水素充電池です。
- はじめて充電するときや、長期間使用しなかったあとでは、電池持続時間が短くなることがあります。通常の使用時間に戻すには、充電と再生を４～５回くり返してください。
- 充電は５℃～３５℃の範囲で行ってください。0℃以下では、充電状態に入らないことがあります。

交換時期について

- 充電可能回数は、約 300 回です。
- 充電池は消耗品のため寿命があり、使用条件や長期間の未使用などにより、電池持続時間が短くなることがあります。
- 電池持続時間が極端に短く（半分以下）なったり、充電できなくなったときは、新しい充電池と交換してください。（別売品：AD-N55BT）

リサイクルご協力のお願い

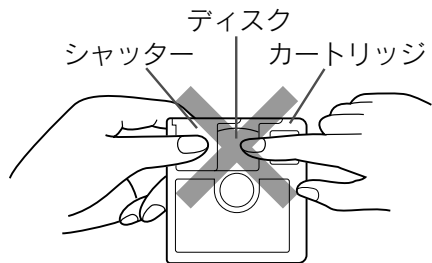
充電式電池は、ニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

ニッケル水素電池のリサイクルマークです。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・(+)端子と(−)端子にテープを貼る。
  - ・外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさない。
  - ・分解しない。

MDについて

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ホコリ・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取り扱えます。
ただし、カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

取り扱いについて

■ シャッターを開けてディスクに直接触れないで！
■ MDは絶対に分解しないで！

- シャッターは無理に開けるとこわれます。
- カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

保管場所について

必ず専用ケースに入れて保管してください。

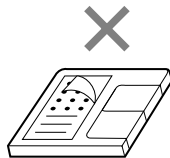
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所（特に密閉した自動車内等）
- 温度や湿度の高い所
- カートリッジの中に砂やホコリが入りやすい場所（海辺や砂地等）

ラベルを貼り付けるときのお願い

MDカートリッジにラベルを正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。
  （指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。

5

■「故障かな?」と思ったら

参考

「故障かな?」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。

電源が入らない
- ➡ AC アダプターがはずれていませんか。 ☞P.18
- ➡ 電池が消耗していませんか。 ☞P.16
- ➡ 誤動作防止状態になっていませんか。 ☞P.21
- ➡「つゆつき現象」がおきていませんか。 ☞P.99
- ➡ 衝撃や静電気などの影響を受けていませんか。☞P.99

音が聞こえない
- ➡ 音量が最小になっていませんか。 ☞P.47
- ➡ リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。☞P.46
- ➡ 音楽用 MD 以外の MD データディスクを再生していませんか。

操作ボタンを押しても操作ができない
- ➡ 誤動作防止状態になっていませんか。 ☞P.21
- ➡ 充電中ではありませんか。 ☞P.17
- ➡ 電池が消耗していませんか。 ☞P.16
- ➡ リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。☞P.46

音がとぎれる
- ➡ 電池が消耗していませんか。 ☞P.16
- ➡ 振動が多い場所で使用していませんか。

MD が取り出せない(ふたが開かない)
- ➡ 曲番や文字情報などの書き込み中ではありませんか。(“TOC EDIT(トック エディット)” 表示) ☞P.44
- ➡ 録音中、または編集中ではありませんか。
- ➡ 録音中または編集中に AC アダプターがはずれたり、停電になっていませんか。 ☞P.99

録音や編集ができない
- ➡ MD が誤消去防止状態になっていませんか。 ☞P.26
- ➡ 録音レベルが調整されていますか。 ☞P.31
- ➡ 他の機器と正しく接続されていますか。☞P.24 - 27
- ➡ 録音中または編集中に、AC アダプターがはずれたり停電になっていませんか。
- ➡ 誤動作防止状態になっていませんか。 ☞P.21
- ➡ 入力可能なサンプリング周波数ですか。 ☞P.26
- ➡ 他の機器の光出力が出ていますか。他の機器の取扱説明書を読んでください。

充電できない
- ➡ 充電池が入っていますか。 ☞P.16
- ➡ 端子が汚れていませんか。 ☞P.106

グループ録音した MD でグループが使えなくなった
- ➡ 他の機器でTOCが書き換えられた可能性があります。

名前のカタカナがローマ字になり正しく表示されない
- ➡ 他の機器でTOCが書き換えられた可能性があります。

異常が起きたら

この製品を使用中に、衝撃、過大な静電気、または落雷によってコンセントから異常な電圧が流れた場合や、誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
また、MD取出しつまみを操作してもふたが開かなくなることがあります。

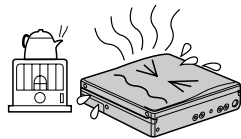
このようなときには、次のようにしてください。

❶ ACアダプターをコンセントからはずす。
❷ 電池をはずして約30秒間そのままにしておく。
❸ ACアダプターをコンセントにつなぐ。
❹ 再度、約30秒以上たってから操作してみる。

それでも具合の悪いときは、**「保証とアフターサービス」**(☞P.107)をごらんのうえ修理を依頼してください。

つゆつき現象について

次のような場合には、内部のレンズやディスクにつゆ(水滴)がつくことにより、正常な動作をしなくなることがあります。

- 暖房をつけた直後
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい所に移動したとき

つゆを取るには

MDを取り出して約1時間くらい置いておけば、つゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

ご注意

- この製品をテレビ、スピーカーなど磁気の帯びたものの近くで使用したり、放置しないでください。故障の原因となります。
- ラジオやテレビに雑音や映像の乱れが生じるときは、この製品を離してください。
- 本機を携帯電話の近くで使用すると、MDの再生時に雑音が入ることがあります。
- MDによっては、記録された各情報に異常があるとき、音がとぎれたり、再生の途中で停止したりすることがあります。
このようなときは、故障と思われて修理を依頼される前に、他のMDでもお確かめください。

こんな表示が出たら

表　示	意　味
BLANK MD	• 音楽や文字情報が記録されていない [録音された MD と取り換えてください]
BUSY	• 曲を移動中
Can't COPY	• コピー禁止のものから録音しようとした • 音楽以外（データなど）の信号を録音しようとした [アナログ入力で録音してください]
Can't EDIT	• 編集できない [別の曲を編集してみてください]
Can't LOCK	• MD 取出しつまみを操作しながら録音、編集しようとした
Can't PLAY	• 再生できない
Can't REC	• ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった
Can't READ ※	• ディスクにキズがついていたりして、情報を読み取れない [MDをもう一度入れ直すか他のMDと取り換えてください]
Can't STAMP	• スタンプできない [曲数を確かめてください]
Can't WRITE	• TOC情報を正しくMDへ記録できない
CHARGEmode	• 充電スタンドに置いたまま操作をしようとした
DISC-FULL (D-FULL)	• MD に録音できる空きがない
DEFECT!	• ディスクにキズがある [再生した音が異常であれば録音をやり直すか他の録音用MDと取り換えてください]
Er-MD ※※	• 自己診断により故障と判断した [修理を依頼してください]
GROUP FULL	• グループ数が 99 をこえている [不要なグループを消してください]
HOLD	• 誤動作防止状態になっている
BATT EMPTY (LoBATT)	• 充電池や乾電池の残量がなくなった
LOCKED (LOCKED)	• 録音中、または編集中に MD を取り出そうとした [電源を切ってから MD を取り出してください]

表　示	意　味
NAME FULL	• ディスク名·グループ名·曲名が40文字をこえている [ディスク名·グループ名·曲名を短くしてください]
NO DISC (NoDISC)	• MD が入っていない
NO SIGNAL (noSIG.)	• デジタルケーブルの接続不良 • 再生する機器から出力信号が出ていない [再生する機器は AC 電源を使ってください] • 入力した信号が適切なサンプリング周波数ではない
NO TRACK (NoTRACK)	• 再生する曲がない [曲のあるグループ、ノングループを選んでください]
PLAY MD (PLAYmd)	• 再生専用MDに録音や編集をしようとした
POWER?	• 指定以外のAC アダプターを使用している 内部の異常電圧を検出した
PROTECTED	• MDが誤消去防止状態になっている
SORRY (Sorry)	• グループや曲番を検索中または書き込み中のため操作できない [少し待って操作してください]

表　示	意　味
TOC FORM ※※	• ディスクへ記録した情報に異常がある [すべての曲を消し、録音をやり直してください]
TOC FULL (T-FULL)	• 文字情報（ディスク名·グループ名·曲名など）または曲番情報を記録する空きがない
TEMP OVER	• 温度が高くなりすぎた [電源を切ってしばらく休ませてください]
Tr. Protect	• 曲が誤消去防止状態になっている [曲を録音した機器で編集してください。またはすべての曲を消してください]
?DISC	• 音楽以外（データなど）が入ったMDを使用した [データなどが入った MD は再生できません]
? Gr Form	• グループ録音やグループリザーブができない [ディスク名を消して、やり直してください]

※には数字や記号が入ります。
（　）内はリモコンの表示です。

MDのシステム上の制約

MDは録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがありますが、故障ではありません。

MDの最大録音時間に満たなくても“DISC FULL”(ディスク フル)または“TOC FULL”(トック フル)が表示されることがある

録音時間に関係なく、曲数が最大(255曲)になると録音できなくなります。
また、録音・編集をくり返したMDやMDにキズがある場合(その部分は自動的に録音不可となる)は、上記未満でも録音・編集できないことがあります。
文字情報(ディスク名・グループ名・曲名)の合計が約1,700文字を超えると編集できなくなります。

短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある

MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下(ステレオ録音(SP)時)の無録音部分は無視されます。
このため、短い曲を何曲消しても残り時間が増えないことがあります。(録音モードにより秒数は異なります。)

MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間に一致しないことがある

通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位として録音されます。これに満たない曲でも約2秒間のスペースを使います。
たとえば、3秒の曲でも2クラスタ(約4秒)のスペースを使います。
このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。
(各秒数は、ステレオ録音(SP)時の値です。録音モードにより異なります。)

編集で曲と曲とをつなげないことがある

録音・編集をくり返して行ったMDでは、曲をつなげることができないことがあります。

曲の途中で曲番がつくことがある

録音するMDにゴミやキズがあると、曲番がつくことがあります。

録音された曲を早戻し・早送りすると、音のとぎれが長いことがある

録音・編集をくり返して行ったMDでは、1つの曲が分散して記録されることがあるため、早戻し・早送り中に音がとぎれることがあります。

名前の先頭に"LP："を入力すると"LP："が表示されないことがある

2倍・4倍長時間録音（LP2・LP4）した曲の曲名の先頭に"LP："を入力すると"LP："が表示されません。"LP"のあとに"："以外の記号や文字を入力してください。

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は著作権法によって保護されています。
したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

■放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど。
■営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

- くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
- この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎(03) 5353-0336

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481－2121	横浜支部	☎(045) 662－6551
北海道支部	☎(011) 221－5088	静岡支部	☎(054) 254－2621
盛岡支部	☎(019) 652－3201	中部支部	☎(052) 583－7590
仙台支部	☎(022) 264－2266	北陸支部	☎(076) 221－3602
長野支部	☎(026) 225－7111	京都支部	☎(075) 251－0134
大宮支部	☎(048) 643－5461	大阪支部	☎(06) 6244－0351
上野支部	☎(03) 3832－1033	神戸支部	☎(078) 322－0561
東京支部	☎(03) 3562－4455	中国支部	☎(082) 249－6362
西東京支部	☎(03) 5321－9530	四国支部	☎(087) 821－9191
東京イベント・コンサート支部	☎(03) 5321－9881	九州支部	☎(092) 441－2285
		鹿児島支部	☎(099) 224－6211
立川支部	☎(042) 529－1500	那覇支部	☎(098) 863－1228

仕様について

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。ご了承ください。

項目	仕様
形式	ミニディスク　デジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
回転数	約 400 ～ 1,800rpm
エラー訂正方式	アドバンスド　クロス　インターリーブ　リードソロモン コード（ACIRC）
音声圧縮方式	ATRAC ／ ATRAC 3（Adaptive TRansform Acoustic Coding)
チャンネル数	ステレオ 2 チャンネル／モノラル 1 チャンネル
サンプリング周波数	44.1kHz　（32kHz・48kHz は、44.1kHz に変換して録音）
周波数特性	20 ～ 20,000Hz（± 3dB）
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK）以下
入力端子	ライン／光デジタル兼用、マイク（プラグインパワー対応）
出力端子	ヘッドホン（インピーダンス 32 Ω）／リモコン端子兼用
入力感度	MIC H　：入力レベル 0.25mV (インピーダンス 10k Ω) MIC L　：入力レベル 2.5mV (インピーダンス 10k Ω) LINE　：入力レベル 100mV (インピーダンス 20k Ω)
出力レベル	ヘッドホン　：最大出力レベル 8mW+8mW (インピーダンス 32 Ω) LINE　：規定出力 250mV (インピーダンス 10k Ω)
電源	DC1.2V　：付属ニッケル水素充電池 (AD-N55BT) x 1 DC1.5V　：付属乾電池ケース(市販単 3 形アルカリ乾電池 1.5V x 1) DC4.5V　：別売カー電源アダプター※(AD-CA20X)（DC12V ／ 24V ⊖ 接地車用） ※ AD-CA55X(別売)と AD-M66PA(別売)との併用で使用することも可能 DC5V　：付属 AC アダプター（100V AC、50 ／ 60Hz）

電池持続時間

モード / 使用電池	ステレオ		LP2 ステレオ		LP4 ステレオ	
付属充電池（フル充電）使用時 AD-N55BT	連続録音 約 10.5 時間	連続再生 約 27 時間	連続録音 約 15 時間	連続再生 約 35 時間	連続録音 約 22 時間	連続再生 約 42 時間
市販高容量単 3 アルカリ乾電池 1 本使用時（充電池収納）	連続録音 約 13 時間	連続再生 約 41 時間	連続録音 約 22 時間	連続再生 約 59 時間	連続録音 約 38 時間	連続再生 約 71 時間
市販高容量単 3 アルカリ乾電池 1 本 ＋ 付属充電池（フル充電）	連続録音 約 28 時間	連続再生 約 72 時間	連続録音 約 43 時間	連続再生 約 100 時間	連続録音 約 64 時間	連続再生 約 120 時間

- 周囲温度 25℃にて充電し、水平に置いて連続使用したときの標準値です。（持ち歩いて使用すると、電池持続時間は短くなります。）
- 連続録音時間：アナログ入力で音量レベル“VOL 0” LIGHT OFF 時
- 連続再生時間：音量レベル“VOL 15” LIGHT OFF 時
- 乾電池のメーカーや種類および使用条件によって、電池持続時間は異なります。
- フル充電とは、約 3.5 時間充電をして電池残量表示が消えてから、さらに約 2 時間充電を続けた状態を言います。

充電時間	約 3.5 時間（約 90%）約 5.5 時間（フル充電）
外形寸法	78.9（幅）x 17.8（高さ）x 71.9（奥行）mm
質量	約 140 g（充電池含む）

別売品について

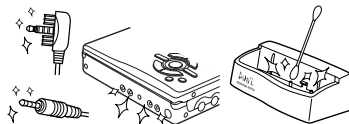
この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

ACアダプター (AD-SS70AP)	100V～240Vワールドワイド対応 (コードの長さ：約1.8m)
光デジタルケーブル (AD-M1DC)	角形プラグ⇔3.5mm丸形プラグ (コードの長さ：約1m)
光デジタルケーブル (AD-M2DC)	3.5mm丸形プラグ⇔3.5mm丸形プラグ (コードの長さ：約1m)
ニッケル水素充電池 (AD-N55BT)	1.2 V、1400mAh
カー電源アダプター (AD-CA20X)	12V／24V ㊀接地車専用 (コードの長さ：約1.5m) 出力電圧：4.5V
カー電源アダプター (AD-CA55X)	12V／24V ㊀接地車専用 (コードの長さ：約1.5m) 出力電圧：1.5V
プラグアダプター (AD-M66PA)	AD-CA55Xとの併用で使用
カセットアダプター (AD-CT13)	コードの長さ：約1.5m
変換コード (AD-D1AC)	φ3.5mm4極ステレオミニプラグ →φ3.5mm3極ステレオミニジャック 変換コード (AD-CT13との併用で使用)
ワンポイントステレオマイク (MC-TS1)	プラグインパワー対応 (コードの長さ：約1m)
タイピンマイク (MC-TP2)	モノラル/プラグインパワー対応 (コードの長さ：約1m)
バウンダリーマイク (MC-BD1)	モノラル/プラグインパワー対応 (コードの長さ：約1.8m)
ステレオヘッドホン (HP-MD1)	オープンエアー型 インピーダンス：32Ω (コードの長さ：約65cm)

ご注意
別売の変換コード(AD-D1AC)は、市販の3極プラグヘッドホンには使用できません。

お手入れについて

やわらかい布で軽くふきます。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

接続端子やプラグが汚れていると接触不良の原因となります。定期的に綿棒で空拭きしてください。
(水やアルコールは絶対に使わないでください。)

ご注意
- **薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないでください。** 変質・変色することがあります。
- **油をささないでください。** 故障の原因となります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（裏表紙）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、１ビットポータブルMDレコーダーの補修用性能部品を製造打切後、８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（108～109ページ）にお問い合わせください。

修理のためにこの製品をお持ち込みになるときは、リモコンなどの付属品も一緒にお願いします。本体だけですと、故障の内容によっては修理および検査ができないことがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

- 「故障かな？」と思ったら（98～99ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ずACアダプターをコンセントから抜き、充電池などをはずしてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ　お客様へ…お買いあげ日･販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　－

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？

- ACアダプターやコードが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- ACアダプターのコードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、電池をはずしてから、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・・・・・・・ **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・・・・・・ **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄･奄美地区を除く）

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前９時～午後６時　＊日曜・祝日：午前 10 時～午後５時（年末年始を除く）

0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、ＮＴＴより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・ＰＨＳからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／ＰＨＳ でのご利用は‥‥‥	（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸ を送信される場合は‥‥‥‥‥	（Ｆ Ａ Ｘ）	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄･奄美地区 については、次ページの「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ 持込修理 および 部品購入のご相談 は、前ページの「修理相談センター」ほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄･奄美地区〕は････＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒１条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前４-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前９時～午後６時　＊日曜・祝日：午前10時～午後５時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

ENGLISH

IMPORTANT

- Do not wear your headphones when you are crossing streets or near traffic.
- Do not use your headphones while driving a motor vehicle as it may create a traffic hazard and may be illegal.
- Do not play the unit at high volumes. Hearing experts advise against extended listening at high volume levels.
- If you experience ringing in your ears, reduce the volume or discontinue use.
- This portable MD should only be used within the range of 32° F - 104° F (0° C - 40° C).

To avoid accidental electric shock or other possible problems, observe the precautions listed below.

- Do not disassemble or modify the unit.
- Do not drop or subject the unit to shock.
- Do not use the unit near open flames.
- Do not spill liquid on the unit.

STORING THE UNIT

Avoid using or leaving the unit in the following places.

- Places exposed to direct sunlight for many hours (especially in cars with the doors and windows closed) or near heaters. (The cabinet may deform, change color or the unit may malfunction.)
- Places exposed to excessive dust.
- Places exposed to water.
- Places where temperatures are excessively high or low.
- Places (bathrooms) where the humidity is extremely high.
- Places with strong magnetic fields such as TVs or loudspeakers.
- Places exposed to vibration.
- Places where sand can easily enter the inside of the unit (beaches etc.).
- If the unit is used near radio tuners or TVs, noise and/ or picture interference may result. If you experience these problems, move the unit away from such devices.
- It is not recommended to put the portable MD into a rear pocket, as this may damage the product when sitting.
- Using this unit near mobile phones may cause noise pickup. If it occurs, move it away from them.

ACCESSORIES (page 11)

- AC Adaptor x 1
- Carrying Case x 1
- Headphones (inner ear type) x 1
- LCD Remote Control Unit x 1
- “AA” Size Battery Case x 1
- Battery Charger x 1
- Battery Carrying Case x 1
- Rechargeable Battery x 1
- Connection Cord for Playback x 1
- Operation Manual x 1
- Quick Reference Guide for Recording x 1

Notes:

- The supplied headphones and connection cord with a 4-pole plug are exclusively for the 1-bit portable MD recorder.
- If used for other equipment, you may not hear sounds from both channels.
- The supplied connection cord is for playback only when listening through the external equipment. It cannot be used for recording.

POWER SOURCE (pages 16 – 20)

■ Rechargeable battery (pages 16 - 17)

1. Insert the rechargeable battery.
   (1) Open the battery compartment cover.
   (2) Insert the ⊖ mark of the battery first.
   (3) Close the battery compartment cover.
2. Plug the AC adaptor into an AC outlet (AC 100V) and plug the other end into the DC IN 5V jack on the battery charger.
3. Place the main unit on the battery charger with its front toward you.

When placing the main unit on the battery charger, the charging state is displayed on the LCD.

Display	Conditions
Scrolling.	Charging.

● Battery charging will be completed in 3.5 hours. When completed, "▭" will go out.
● You can also charge the battery by connecting the AC adaptor directly to the DC IN 5V jack on the main unit and pressing the CHARGE button.
● The battery will not be charged while the main unit is powered on.
● The battery will not be charged when the alarm is set.
● Use only the attached rechargeable battery (AD-N55BT).

■ AC adaptor (page 18)

It is recommended to use the AC adaptor when recording.
Plug the AC adaptor into an AC outlet (AC 100V) and plug the other end into the DC IN 5V jack on the main unit.

Caution:

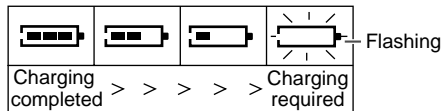
To ensure safety, unplug the AC adaptor from the AC outlet if not using it for long periods.

■ Alkaline battery power (page 19)

1. Open the battery case supplied with the unit.
2. Insert the AA size battery (LR6) into the battery case according to the direction imprinted and then close the case.
3. Align the protuberance on the battery case with the indentation on the side of the unit.
4. Turn the linking screw on the battery case toward the word "LOCK", and then make sure that the battery case does not move.

● When using this portable MD with an alkaline battery, keep the rechargeable battery in the main unit.
● Do not insert a rechargeable battery (such as nickel-cadmium rechargeable battery) into the battery case.

■ Checking the remaining amount of battery (page 20)

While the unit is being operated with the rechargeable battery or alkaline battery, the remaining amount of battery will appear on the display.

HOLD FUNCTION (page 21)

The present operation can be kept even if buttons are accidentally pressed in a place such as a crowded train.

Main unit

To activate or cancel the hold function, hold down the HOLD button for 2 seconds or more.

Remote control

To activate the hold function, slide the HOLD switch toward ◄.
To cancel, slide the HOLD switch back.

ENGLISH OPERATION MANUAL

INSERTING A MINIDISC (page 22)

1. Move the OPEN knob in the direction shown by the arrow to open the disc holder.
2. Insert the arrow end of the MiniDisc first while pushing the center of the MiniDisc and close the disc holder.

RECORDING (pages 24 - 44)

The supplied connection cord is for playback only. Purchase commercially available one for recording.

■ Recording from audio equipment (manual recording) (pages 28 - 29)

1. Insert a recordable MiniDisc.
2. Connect external equipment to the OPTICAL/LINE IN terminal.
3. Press the REC button.
4. Start playback on the external equipment and adjust the recording level by pressing the ⏮ or ⏭ button.
   Adjust it so the level meter fluctuates between – 4 dB and 0 dB at the maximum level.
5. Set the external equipment to the pause made. (Select the track to be recorded.)
6. Press the ▶II button.
7. Resume playback on the external equipment and start recording.

To interrupt recording

Press the ▶II button while recording.

- The track number increases by one.
- To resume recording, press the ▶II button again.

To stop recording

Press the ■ button while recording.

To turn off the power

Press the ■ button while in the stop mode.
The unit is turned off after TOC information is recorded.

■ Recording from a microphone (manual recording) (page 30)

1. Insert a recordable MiniDisc.
2. Connect a plug-in microphone to the MIC IN jack on this unit.
3. Press the REC button.
4. Press the ⏮ or ⏭ button to adjust the recording level.
5. Press the ▶II button to start recording.

■ Sound-actuated synchronous recording (pages 32 - 33)

This function detects sound from the connected equipment and automatically starts or interrupts recording.
Cancel the settings for track-back recording.

1. Press the REC button.
2. Press the MENU button.
3. Select “SYNC REC” by pressing the ⏮ or ⏭ button, and then press the MENU button again.
4. Select the synchronous recording mode by pressing the ⏮ or ⏭ button.
   - For recording from audio equipment, select ON.
   - For recording from a microphone, select the sound level (MIC SYNC H or MIC SYNC L).
     H (High): Recording starts when the unit detects -24dB or higher.
     L (Low): Recording starts when the unit detects -12dB or higher.
5. Press the MENU button again.
6. Recording starts when the unit detects sounds from the connected equipment or microphone.

- If the silence lasts for 3 seconds or more, the unit enters the recording pause mode.
  When the unit detects sounds again, a new track number will be created and recording will start.

To cancel synchronous recording

Press the [■] button.

■ Long recording (pages 34 - 35)

2 times or 4 times long stereo recording is possible.
You can make a recording in the monaural mode for twice as long as in the stereo mode (SP).

1. Press the [REC] button.
2. Press the [MENU] button.
3. Select “REC MODE” by pressing the [⏮] or [⏭] button, and then press the [MENU] button again.
4. Select the recording mode by pressing the [⏮] or [⏭] button, and then press the [MENU] button.

   For an 80 minute MiniDisc:

SP/STEREO	80 minutes in stereo
LP2	160 minutes in stereo
LP4	320 minutes in stereo
SP/MONO	160 minutes in mono

5. Start recording (manual, synchronous, trace-back).

■ Creating track numbers automatically (page 37)

You can select the numbering method for analog recording from audio equipment or a microphone.

1. Press the [MENU] button while recording is paused or in progress.
2. Press the [⏮] or [⏭] button to select “MARK” and press the [MENU] button again.
3. Press the [⏮] or [⏭] button to select the numbering method.
   - For audio equipment: LEVEL-AUTO (numbering with silence lasting 1 second or more), TIME 10min, TIME 5min, TIME 3min, OFF
   - For microphone: TIME 10min, TIME 5min, TIME 3min, OFF
4. Press the [MENU] button.

■ Creating track numbers manually (page 38)

Press the [REC] button at the point where you wish to create a track number while recording. The track number increases by one.
You can also use the [BASS] button on the remote control.

■ Group recording (pages 39 - 41)

You can record tracks by the group of artists, albums, etc.
The MiniDisc can be played back by selecting the group.

1. Press the [REC] button.
2. Press the [GROUP] button for 2 seconds or more. “GR” will flash.
   To cancel group recording, press the [GROUP] button for 2 seconds or more until "GR" goes out.
3. Press the [MENU] button.
4. Select “GrSELECT” by pressing the [⏮] or [⏭] button, and then press the [MENU] button.
5. Select a group by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
   The unit displays “GR01”, “GR02”, “GR03”... or group names if given. For non-grouped recording, select “Non GROUP”.
6. Start recording (manual, synchronous, trace-back).

■ Group-up recording (page 41)

You can shift to group recording while recording normally from a microphone.

1. Start recording.
2. Press the GROUP button. Group recording will be activated.

■ Trace-back recording (pages 42 - 43)

When making a microphone or radio broadcasting, etc. (analog) recording, you can trace back 5 - 30 seconds prior and start recording.

- When connected digitally, trace-back recording cannot be operated.

1. Press the REC button.
2. Press the MENU button.
3. Select "TRACE BACK" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
4. Press the ⏮ or ⏭ button to select the trace back time.
   TIME 5sec → TIME 10sec → TIME 30sec → OFF
5. Press the MENU button.
6. Press the ▶II button at the desired point.
   The unit traces back the time set in step 4 and starts recording.

To pause recording

Press the ▶II button while recording.
When it is pressed again, the unit traces back the set time and resumes recording.

Note:
The setting for trace-back recording remain even if you remove the MiniDisc.
To cancel trace-back recording, select "OFF" in step 4.

■ Checking the remaining recording time (page 44)

Press the DISP button while recording is paused or in progress.
You can also press the DISPLAY button on the remote control.

■ About the TOC (Table of Contents) (page 44)

After recording or editing, "TOC" is displayed.

- While recording, "TOC" flashes on the display.
- While "TOC" is displayed, you cannot eject the MiniDisc. Eject it after turning off the power.

PLAYBACK (pages 46 - 61)

1. Plug in the remote control and headphones.
   Insert the plug fully.
2. Insert a MiniDisc.
3. Start playback by pressing the ▶II button.
   When you insert a playback-only MiniDisc or a MiniDisc which is protected against accidental erasure, playback will begin automatically.
4. Press the – or + button to adjust the volume (0 - 30).

To interrupt playback:

Press the ▶II button during playback.

- Press the ▶II button again to resume playback.
- About 5 minutes after playback is paused, the unit will enter the stop mode and, 30 seconds later, turn off.

To stop playback:

Press the ■ button during playback.

- About 2 minutes after playback is stopped, the unit will turn off.

To turn off the power:

Press the ■ button while in the stop mode.

■ Track search (page 49)

To search a track:

During playback or while in the stop mode, press the [⏮] or [⏭] button.

If in the stop mode, start playback when the desired track number is displayed.

Cue and Review:

During playback, hold down the [⏮] or [⏭] button.

Playback will start when you release the button.

■ Sound Control (pages 50 - 51)

To adjust the bass:

[On the remote control]

Select the bass strength by pressing [BASS] button.

BASS1 → BASS2 → BASS3 → BASS OFF

[On the main unit]

1. Press the [MENU] button.
2. Select “BASS” by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
3. Select the bass strength by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button again.
   LEVEL 1 ↔ LEVEL 2 ↔ LEVEL 3 ↔ OFF

To adjust the treble:

You cannot adjust if when the bass setting is “BASS OFF”.

The treble cannot be adjusted by the remote control.

1. Press the [MENU] button.
2. Select “TREBLE” by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
3. Select the treble strength by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button again.
   LEVEL –2 ↔ LEVEL –1 ↔ NORMAL ↔ LEVEL +1 ↔ LEVEL +2

■ Group playback (pages 52 - 53)

You can play back tracks by the group of artists, albums, etc. if the MiniDisc is group-recorded.

1. Insert a group-recorded MiniDisc.
   The unit automatically enters the group mode.
2. Press the [▶II] button.
   Non-grouped tracks will be played after grouped tracks.

Note:

In the favorite track playback mode and the favorite track repeat playback mode, these modes are prioritized over the group mode.

To specify the group:

1. During playback or while in the stop mode, press the [GROUP] button.
   GR will flash.
2. Within 5 seconds, select the group by pressing the [⏮] or [⏭] button.

To cancel the group mode:

While in the stop mode, hold down the [GROUP] button for 2 seconds or more. Tracks will be played in recorded order regardless of group.

Press the [GROUP] button again for 2 seconds or more to enable the group mode.

Note:

In the favorite track playback mode and the favorite track repeat playback mode, the [GROUP] button does not work. Switch the unit to a different mode from the favorite track playback mode or the favorite track playback repeat mode, and cancel the group made.

■ Intro play (page 54)

This function plays the beginning of each track for 9 seconds.

1. While playback is stopped, press the ▶II button for 2 seconds or more.
2. Press the ▶II button when you reach the track you wish to listen. Normal playback will resume.

Note:
Intro play is available only when normal playback or all track repeat playback is selected.

■ To listen to random or repeat playback (pages 56 - 57)

You can enjoy a variety of playback styles by switching the playback mode.

[On the remote control]

Press the MODE button during playback.

RND → RND ↻ → ↻ → 1↻ → MY → MY↻ → No display (→ back to RND)

[On the main unit]

1. Press the MENU button during playback.
2. Select "PLAY MODE" by pressing the |◀◀ or ▶▶| button and press the MENU button again.
3. Select the playback mode by pressing the |◀◀ or ▶▶| button and press the MENU button.

RANDOM → RND REPEAT → ALL REPEAT → 1 REPEAT → MY-NORMAL → MY-REPEAT → NORMAL → (back to RANDOM)

MY, MY↻, MY-NORMAL, MY-REPEAT are displayed only when the favorite tracks are registered on MiniDisc.

RND	After all tracks are played back at random, playback stops automatically. When the group mode is selected, tracks are played back randomly within a group.
RND ↻	All tracks are played back randomly and repeatedly. When the group mode is selected, tracks are played back randomly within a group and groups are played in order repeatedly.
↻	All tracks are played back repeatedly in order. When the group mode is selected, tracks are played back by the group repeatedly.
1↻	The selected track is played back repeatedly. When the group mode is selected, the selected group is played back repeatedly.
MY	All tracks registered as "favorite tracks" are played back.
MY ↻	All favorite tracks are played back repeatedly.

■ Favorite track playback (pages 58 - 59)

You can register up to 10 tracks per MiniDisc as "favorite tracks" which remain in memory even after removing the MiniDisc (up to 9 discs).

To register favorite tracks:

While playing a track to be registered, hold down the ▶II button on the remote control for 2 seconds or more.

To play the registered track:

1. While playing, press the MODE button until "MY" or "MY↻" is displayed.
2. Press the |◀◀ or ▶▶| button to choose the registered track.

To cancel each of the registered tracks:

1. Press the [MODE] button until "MY" is displayed.
2. Select the track you wish to cancel by pressing the [⏮] or [⏭] button.
3. While the selected track is playing, press the [▶II] button of the remote control for 2 seconds or more.

To cancel all favorite tracks:

1. Insert a MiniDisc with "favorite tracks".
2. While in the stop mode, press the [MENU] button on the main unit.
3. Select "SET UP" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
4. Select "MY DELETE" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
5. Press the [MENU] button. All favorite tracks are now canceled.

■ To adjust playback speed (pages 60 - 61)

[On the remote control]

1. Hold down the [MODE] button for 2 seconds or more.
2. Within 10 seconds, select the speed by pressing the [⏮] or [⏭] button.
   Move ♪ to adjust the speed.
3. Press the [MODE] button to complete the setting.
   To return to normal speed, move ♪ to ⁑ position.

[On the main unit]

1. During playback, press the [MENU] button.
2. Select "PLAY SPEED" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
3. Select the speed by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
   To return to normal speed, select "± 0%".

SETTING THE ALARM (pages 62 - 63)

[On the remote control]

1. During playback or while in the stop mode, press the [DISPLAY] button.
2. Within 10 seconds, select "ALARMon" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [DISPLAY] button again.
3. Within 10 seconds, select the time by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [DISPLAY] button.
   You can set the time from 1 to 99 minutes.

[On the main unit]

1. During playback or while in the stop mode, press the [MENU] button.
2. Select "ALARM" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
3. Select "ON" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
4. Select the time by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
   You can set the time from 1 to 99 minutes.

When the set time comes:

The alarm beeps repeatedly for one minute from the headphones.

To stop the beep sound:

Press any button on the remote control or the main unit.

To change the alarm time:

Repeat the operation from step 1.

To cancel the alarm setting:

On the remote control: Select "ALARMoff" in step 2.
On the main unit: Select "OFF" in step 3.

SWITCHING DISPLAYS (pages 64 - 66)

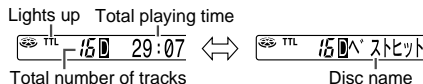
Switching displays while in the stop mode (pages 64 - 65)

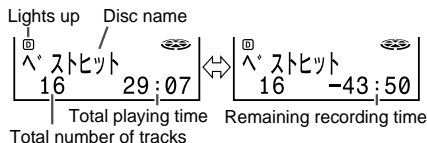
Switching the display for the remote control and the unit can be done separately.

Checking all tracks

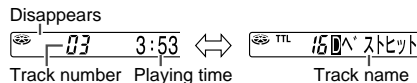
[On the remote control]

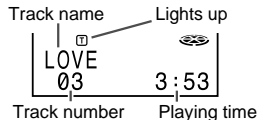
Press the DISPLAY button.

Lights up
Total playing time
Total number of tracks
Disc name

[On the main unit]

Press the DISP button.

Checking track by track

[On the remote control]

1. Select a track by pressing the ⏮ or ⏭ button.
2. Press the DISPLAY button.

[On the main unit]

Select a track by pressing the ⏮ or ⏭ button.

- To check all tracks, press the ■ button.
- The display varies according to the play mode (group, favorite track).

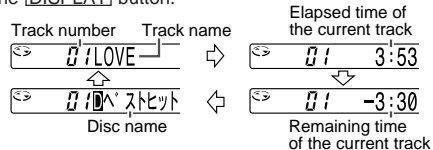
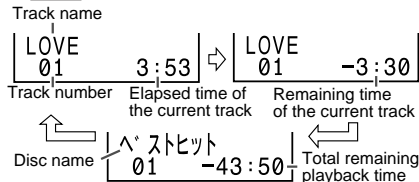
Switching displays during playback or while in the pause mode (page 66)

[On the remote control]

Press the DISPLAY button.

[On the main unit]

Press the DISP button.

Track name
Track number
Elapsed time of the current track
Remaining time of the current track

CHANGING DEFAULT SETTINGS (pages 67 - 68)

1. Insert a MiniDisc.
2. While in the stop mode, press the MENU button.
3. Select "SET UP" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
4. Select the menu by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
5. Select the item by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.

Menu	Item		
BEEP Key-touch tone	ON Beep on		OFF Beep off
AUTO PLAY Auto play	ON Set		OFF Canceled
POWER SAVE Auto power save	AUTO Set		OFF Canceled
DIGI LEVEL Digital recording level	AUTO SAVE Setting retained		NOT SAVE Canceled
REMOTE LCD Backlight on the remote control	NORMAL	ALL TIME See below.	AUTO OFF

NORMAL Display: Always displayed.
Backlight: Lit for approx. 10 seconds when operated.

ALL TIME Display: Always displayed.
Backlight: Lit for approx. 10 seconds when operated.
(Always lit when operated with AC power.)

AUTO OFF Display: Displayed for approx. 10 seconds when operated.
Backlight: Lit for approx. 10 seconds when operated.

EDITING MINIDISCS (pages 70 - 81)

Editing can be done only on the main unit.

■ Titling a recorded MiniDisc (pages 70 - 73)

Creating a disc name

1. Insert a recorded MiniDisc and cancel the group mode.
2. Press the ■ button to light the "D".
3. Press the MENU button.
4. Select "NAME" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
5. When "DISC NAME" appears, press the MENU button.
You can enter characters now.
6. Press the DISP button to select the type of characters.
Katakana → Alphabetic characters (capital letters) → Alphabetic characters (small letters) → Numbers and symbols
7. Select a character by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
Repeat the operation to enter other characters.
8. After entering all characters, hold down the MENU button for 2 seconds or more. The disc name has been created.

Creating a group name

1. Insert a group-recorded MiniDisc.
2. Press the ⏮ or ⏭ button while in the stop mode to choose the group to be named.
3. Press the MENU button.
4. Select "NAME" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
5. When "GROUP NAME" appears, press the MENU button.
You can enter characters now.
6. Enter characters in the same procedures as steps 6 – 7 in "Creating a disc name".
7. After entering all characters, hold down the MENU button for 2 seconds or more. The group name has been created.

Creating a track name

1. While in the stop mode or pause mode, select the track by pressing the [⏮] or [⏭] button.
2. Press the [MENU] button.
3. Select "NAME" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
4. When "TRACK NAME" appears, press the [MENU] button. You can enter characters now.
5. Enter characters in the same procedures as steps 6 – 7 in “Creating a disc name” on page 119.
6. After entering all characters, hold down the [MENU] button for 2 seconds or more. The track name has been created.

To add a character:

1. Set the unit to the character input mode.
2. Press the [–] or [+] to select the character before which you wish to add another character.
3. Select the character you wish to add.
4. Hold down the [MENU] button for 2 seconds or more.

To erase a character:

1. Set the unit to the character input mode.
2. Press the [–] or [+] to select the character you want to erase.
3. Press the [GROUP] button.
4. Hold down the [MENU] button for 2 seconds or more.

To change a character:

Erase the character you want to change, and then add a new one.

■ Erasing one track at a time (TRACK ERASE) (page 74)

1. While in the stop mode, select the track to erase by pressing the [⏮] or [⏭] button.
2. Press the [MENU] button.
3. Select "EDIT" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
4. Select "Tr.ERASE" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
5. Press the [MENU] button. The track has been erased.

■ Erasing all the tracks at once (ALL ERASE) (page 75)

1. While in the stop mode, press the [MENU] button.
2. Select "EDIT" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
3. Select "ALL ERASE" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
4. Press the [MENU] button. All tracks have been erased.

■ Combining tracks (COMBINE) (pages 76 - 77)

1. While in the stop mode, select the latter of the two tracks to be combined by pressing the [⏮] or [⏭] button.
2. Press the [MENU] button.
3. Select "EDIT" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
4. Select "COMBINE" by pressing the [⏮] or [⏭] button and press the [MENU] button.
5. Press the [MENU] button. The tracks are now combined.

Dividing a track (DIVIDE) (page 78)

1. During playback, press the ▶II button at the point where you wish to divide the track. Playback will be paused.
2. Press the MENU button.
3. Select "EDIT" by pressing the I◀◀ or ▶▶I button and press the MENU button.
4. Select "DIVIDE" by pressing the I◀◀ or ▶▶I button and press the MENU button.
5. Press the MENU button. The track is now divided.

Moving a track (MOVE) (page 79)

1. While in the stop mode or pause mode, select the track to move by pressing the I◀◀ or ▶▶I button.
2. Press the MENU button.
3. Select "EDIT" by pressing the I◀◀ or ▶▶I button and press the MENU button.
4. Select "MOVE" by pressing the I◀◀ or ▶▶I button and press the MENU button.
5. Select the new position for the track by pressing the I◀◀ or ▶▶I button.
6. Press the MENU button. The track has been moved.

Stamping titles from another MiniDisc (pages 80 - 81)

Before stamping

When same tracks are recorded on 2 MiniDiscs, you can transfer the character information (disc name, group name, and track name) of the master MiniDisc to another MiniDisc (for stamping).

What is a master MiniDisc?

A recordable MiniDisc that contains tracks and character information.

What is a MiniDisc for stamping?

A recordable MiniDisc that contains the same tracks in the same order as the master MiniDisc (tracks only).

1. Insert a master MiniDisc.
   Do not mistake the master MiniDisc for the target one.
2. While in the stop mode, press the MENU button.
3. Select "EDIT" by pressing the I◀◀ or ▶▶I button and press the MENU button.
4. Select "NAME STAMP" by pressing the I◀◀ or ▶▶I button and press the MENU button.
5. Press the MENU button.
6. When "CHANGE MD" appears, remove the master MiniDisc. Remove it without turning the power off. Or the operation will be canceled.
7. Insert the MiniDisc for stamping.
8. Press the MENU button. The information has been written.

GROUP EDITING (pages 82 - 87)

Moving a track to another group (GROUP CHANGE) (page 82)

1. Insert a group-recorded MiniDisc.
2. While in the stop mode or pause mode, select the track to move by pressing the I◀◀ or ▶▶I button.
3. Press the MENU button.
4. Select "GROUP" by pressing the I◀◀ or ▶▶I button and press the MENU button.
5. Select "CHANGE" by pressing the I◀◀ or ▶▶I button and press the MENU button.
6. Select the destination group by pressing the I◀◀ or ▶▶I button.
7. Press the MENU button. The track has been moved.

■ Creating a group before recording (GROUP RESERVE) (page 83)

1. Insert a MiniDisc.
2. While in the stop mode, press the MENU button.
3. Select "GROUP" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
4. Select "RESERVE" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
5. Enter the group name.
6. Hold down the MENU button for 2 seconds or more. The group name is displayed.

■ Moving a group to the top (GROUP TOP MOVE) (page 84)

1. Insert a group-recorded MiniDisc.
2. While in the stop mode, select the group to be moved by pressing the ⏮ or ⏭ button.
3. Press the MENU button.
4. Select "GROUP" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
5. Select "TOP MOVE" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
6. Press the MENU button. The group has been moved to the top.

■ Positioning non-group tracks after group-recorded tracks (GROUP ARRANGE) (page 85)

1. Insert a group-recorded MiniDisc.
2. While in the stop mode, press the MENU button.
3. Select "GROUP" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
4. Select "ARRANGE" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
5. Press the MENU button. Non-group tracks have been moved behind the grouped ones.

■ Erasing a group (GROUP ERASE) (page 86)

1. Insert a group-recorded MiniDisc.
2. While in the stop mode, select the group to be erased by pressing the ⏮ or ⏭ button.
3. Press the MENU button.
4. Select "GROUP" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
5. Select "Gr&TrERASE" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
6. Press the MENU button. The group has been erased.

■ Erasing group information (GROUP CANCEL) (page 87)

1. Insert a group-recorded MiniDisc.
2. While in the stop mode, press the MENU button.
3. Select "GROUP" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
4. Select "CANCEL" by pressing the ⏮ or ⏭ button and press the MENU button.
5. Press the MENU button. The group information has been erased.

〈無 料 修 理 規 定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   - （イ） 本書のご提示がない場合。
   - （ロ） 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   - （ハ） 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   - （ニ） お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   - （ホ） 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
   - （ヘ） 一般家庭用以外（例えば業務用）に使用された場合の故障・損傷。
   - （ト） 消耗部品（充電池）が損耗し取り替えを要する場合。
   - （チ） 当社指定の充電池（取扱説明書に記載）以外の電池の液漏れによる故障・損傷。
   - （リ） 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。
     また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

SHARP

シャープ 1ビットポータブルMDレコーダー保証書

持込修理

形　名	MD-DR7	
お客様	ふりがな お名前	様 ☎
	〒 ご住所	
取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間	お買いあげ日 年 月 日より	本体は1年間 ただし消耗品は除く

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居・ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

シャープ株式会社
〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22-22
電　話　(06) 6621-1221(大代表)

●製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	
東日本相談室	TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**
西日本相談室	TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》月曜～土曜：午前９時～午後６時　日曜・祝日：午前10時～午後５時（年末年始を除く）

●修理のご相談は‥ 108～109ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

●シャープホームページ **http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社
本　社　〒545-8522
大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒739-0192
東広島市八本松飯田2丁目13番1号

Printed in Malaysia
TINSJ0158AWZZ
03E R AO ③